

# グラッセ プラス -2216 組立説明書

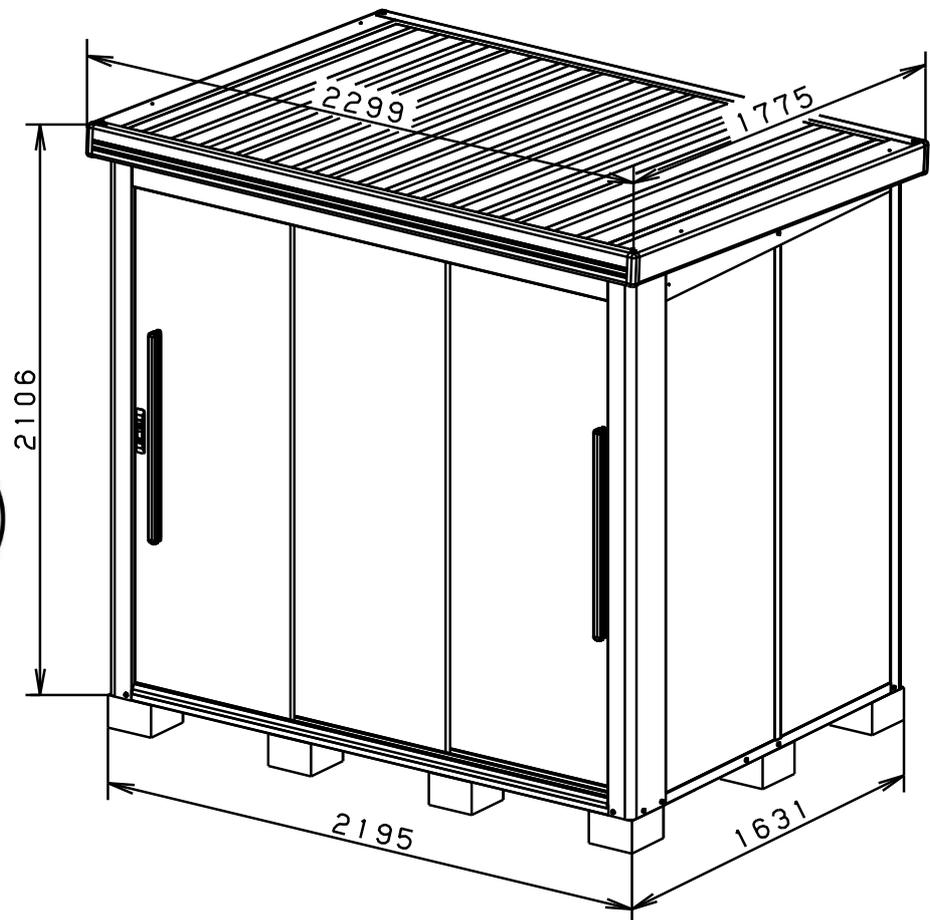
	W	D	H	内寸W	内寸D	内寸H	開口W	開口H	梱包数	半ブロック数
GLA プラス-2216	2195	1631	2106	2128	1428	1861	1179	1825	19	15

※寸法：mm

耐荷重 床板:5880N/m<sup>2</sup> (約 600kgf/m<sup>2</sup>) 屋根:1176N/m<sup>2</sup> (約 120kgf/m<sup>2</sup>) 棚板:1960N/m<sup>2</sup> (約 200kgf/m<sup>2</sup>)

GLA プラス-2216	1823 kg	489 kg	大 123 kg
--------------	---------	--------	----------

積雪 約 60 cm



組立説明書を  
良く読んで安全に  
組み立てましょう



このたびは、「グラッセ プラス -2216」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この組立説明書には、組み立て・設置いただく際の注意事項および手順が記載されています。**組み立てる前に必ずお読みになり、正しく安全な作業を行ってください。**また、この製品を末永く御使用いただくために、この説明書は大切に保管してください。

# 安全のために

ここに記載してある内容は、安全に設置、組み立てを行っていただく為の重要な事項です。必ずお読みなり、十分に理解したうえで正しく確実な作業をお願いいたします。

 <b>注意</b>	この事項を守らない場合、ケガや死亡・物的損害の原因になります。
 <b>留意</b>	この事項を守らない場合、ケガや物的損害の原因になります。

## 組み立てる前に

説明書をよくお読みになり、順序にしたがって作業してください。

- (1) 部品表を見て部材がそろっているかご確認ください。
- (2) 基礎用コンクリートブロックは含まれていませんので別途ご用意ください。
- (3) 紛失に備えて、鍵の刻印番号を取扱説明書に控えておいてください。

## 設置場所について

次の様な場所への設置はしないでください。



- (1) 屋上や崖の淵など安全の確保が出来ない場所。  
※強風により転倒、破損し落下の危険があります
- (2) ベランダ（バルコニー）や避難通路。  
※非常時に避難通路として使用できない恐れがあります。



- (1) 家の屋根から直接雨や雪が落ちてくる場所。  
※変形や破損、雨漏りの原因になり、ケガや収納物に損害を与える恐れがあります。
- (2) 地固めを行っても地盤が柔らかい場所。  
※立て付けの不良や転倒の恐れがあります。

## 組み立てにあたって

次の事に気をつけて、安全に作業してください。



- (1) 安全のため、二人以上で作業してください。
- (2) 手袋や長袖長ズボンなどの保護具を着用して作業してください。  
※万全を期していますが、部材の切断面や角などでケガをする恐れがあります。
- (3) 強風の日には作業をしないでください。  
※部材の飛散や転倒による破損、ケガをする恐れがあります。
- (4) 組み立て終了後はボルト・金具類の付け忘れやゆるみがないか確認してください。  
※強度が弱くなり倒壊、破損の原因になります。
- (5) 転倒防止工事を必ず行ってください。  
※強風等で転倒し、破損、物的損害、ケガをする恐れがあります。

## お手入れについて

末永くご使用いただくために次の事項をお守りください。

- (1) 本体に付着したほこりや汚れは、水拭きまたは中性洗剤を使用して落としてください。
- (2) キズは錆の原因になりますので早めに補修してください。

# 《部 品 表》

各梱包にはそれぞれ下記の部品がはいつておりますので、まず部品表と照らし合わせ全部そろっているか確認してください。

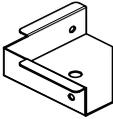
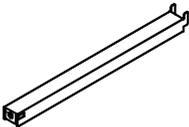
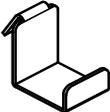
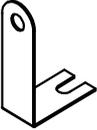
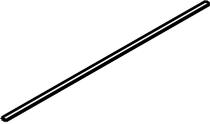
## ■部材・梱包一覧

梱包番号	符号	名 称	数量
No. 1 土台	①	土台前	1
	②	土台後	1
	③	土台横 左	1
	④	土台横 右	1
	⑤	根 太	1
No. 2 床板パネル A	⑦	床板パネル A	2
No. 3 床板パネル B	⑦	床板パネル A	1
	⑧	床板パネル B	1
No. 4 柱	⑨	前柱 左	1
	⑩	前柱 右	1
	⑪	後柱	2
No. 5 上枠	⑫	前母屋	1
	⑬	扉枠上	1
	⑭	上枠後	1
No. 6 妻板	⑮	妻板 左	1
	⑯	妻板 右	1
No. 7 母屋	⑰	中柱中 左	1
	⑱	中柱中 右	1
	⑲	中柱後	2
	⑳	母屋	1
No. 8 屋根 A	㉓	屋根パネル A	3
No. 9 屋根 B	㉓	屋根パネル A	1
	㉔	屋根パネル B	1
No. 10 壁パネル A	㉘	壁パネル	2

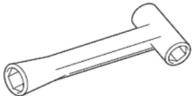
梱包番号	符号	名 称	数量
No. 11 壁パネル B	㉘	壁パネル	1
No. 12 扉 1	㉚	右扉	1
	㉛	左扉	1
No. 13 扉 2	㉜	中扉	1
No. 14 鼻隠し	㉝	鼻隠し前	1
	㉞	鼻隠し後	1
	㉟	扉枠上カバー	1
No. 15 棚柱	㊱	棚柱後	1
	㊲	棚柱前	1
	㊳	棚柱端	2
No. 16 棚板 大	㊴	棚板 大	2

× 3 梱包

## ■部品箱 内容

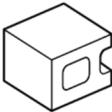
名 称	形 状	数 量
六角フランジボルト M6×10 mm カラー：パールブラウン		140 (予備4)
低頭ビス M6×10 mm		11 (予備1)
コーナー金具		4
棚柱枠		2
棚柱端取付具		2
棚受け金具		8
プラスチックチェーン 2.1m U型ハンガー付き：ブラウン		1
水止めキャップ φ25 穴用		1
棚柱前固定金具		1
チェーン振れ止め		1
スポンジシール 5t×20×1000		5

## ■部品箱 内容

名 称	形 状	数 量
ボックスドライバー		1
プラスドライバー		1
水準器		1
アンカープレート		4
注意ステッカー		1
組立説明書		1
取扱説明書		1
保証書		1

### 【ご用意していただくもの】

上記の部品以外に下記の部品が必要になりますので、お客様にて別途ご用意ください。

名 称	形 状	数 量
半ブロック		15

# 《組立手順》

以下の手順に従い、正しく安全に組み立て作業を行ってください。

## 1 基礎の施工

- ① 地盤が砂利や土の場合、地ならし・地固めを充分に行ってください。

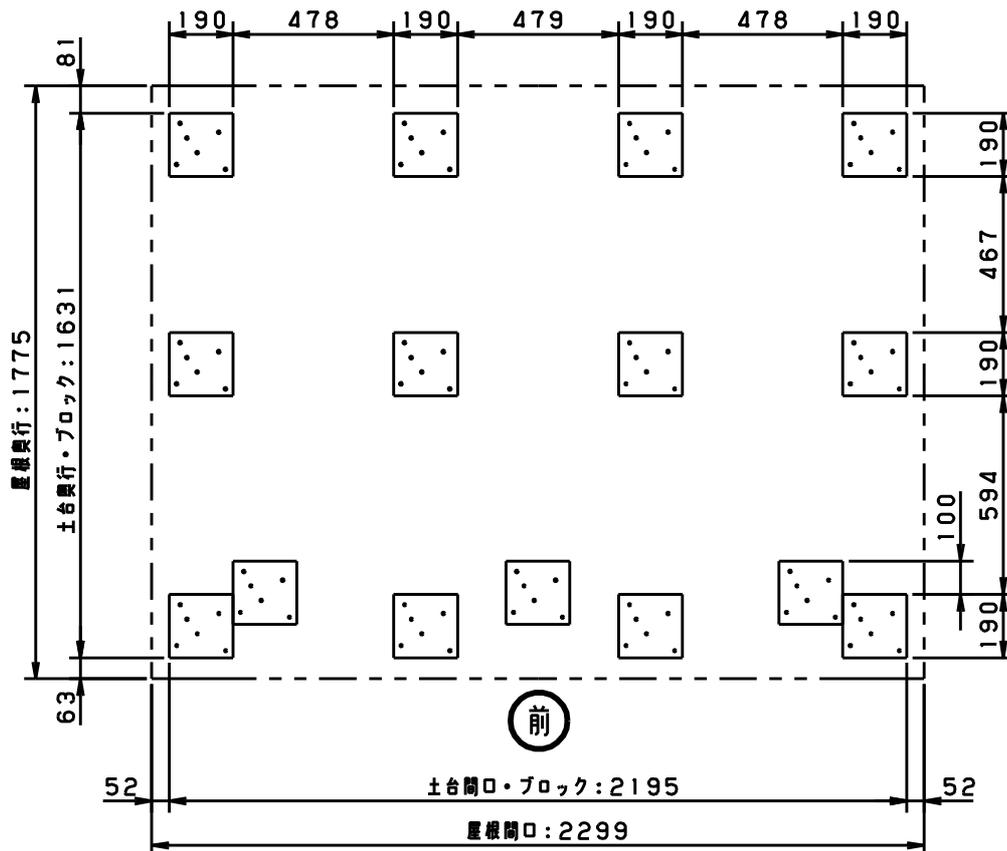
※不十分だと後で組立しにくくなり、扉のすきまの原因になります。



地盤がコンクリートの場合は②へ進んで下さい。



- ② コンクリートブロックを下図のように15個配置した上、高さを均等にし、水準器を使用して水平になるように調整してください。



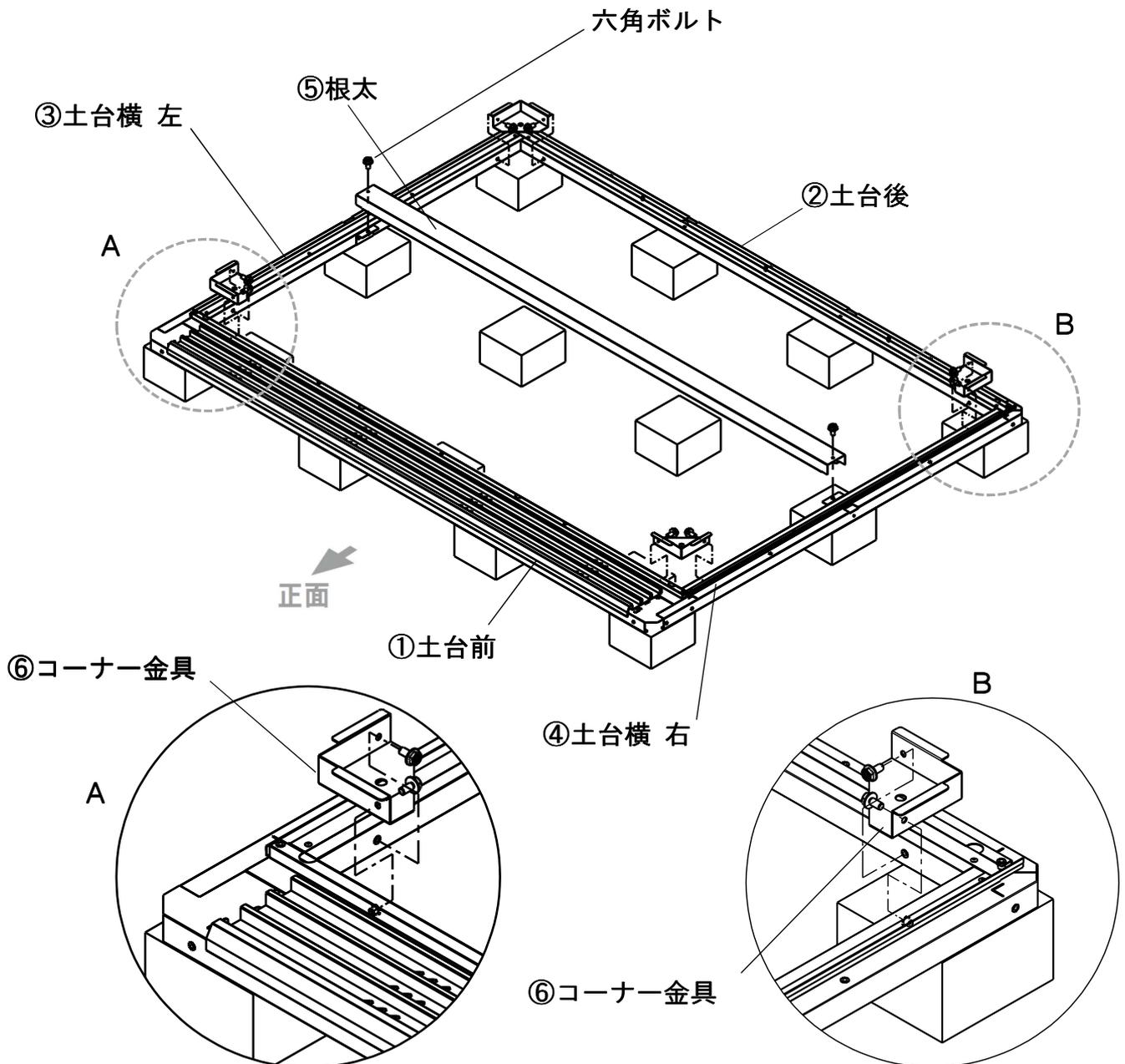
角材等まっすぐな物を、並べたブロックの上に置くと、高さがそろっているか簡単に確認することができます。



## 2 土台枠の組立

- ① ①土台前、②土台後、③土台横左、④土台横右をブロック上に配置します。
- ② ⑥コーナー金具で土台を固定する。  
＜A図、B図参照＞
- ③ ⑤根太を③土台横 左、④土台横 右に固定する。
- ④ 土台を水平になるように調整してください。  
※不十分だと後の工程に影響します。

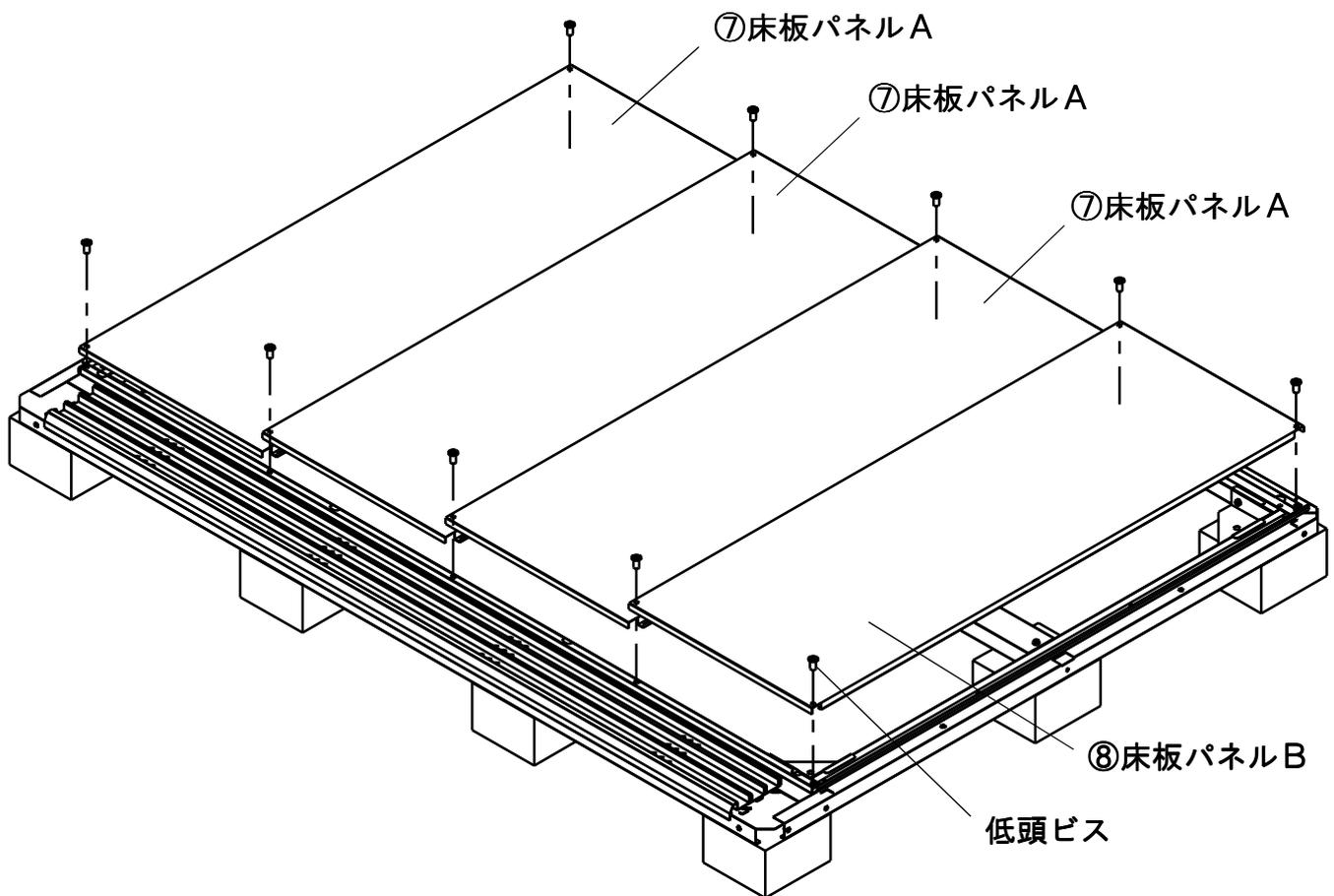
使用する部品		
部品番号	名称	数量
①	土台前	1
②	土台後	1
③	土台横 左	1
④	土台横 右	1
⑤	根太	1
⑥	コーナー金具	4
	六角ボルト	10
	ボックスドライバー	1



### 3 床板パネルの組立

- ① ⑦床板パネルAを3枚土台の上に左端から並べる。
- ② ⑧床板パネルBを右端に並べる。

使用する部品		
部品番号	名称	数量
⑦	床板パネルA	3
⑧	床板パネルB	1
	低頭ビス	10
	プラストライバ-	1



※土台の四隅の直角度が出ていないと、床板パネルが入りにくくなります。

また、本体のゆがみとなり 後で不具合が生じます。

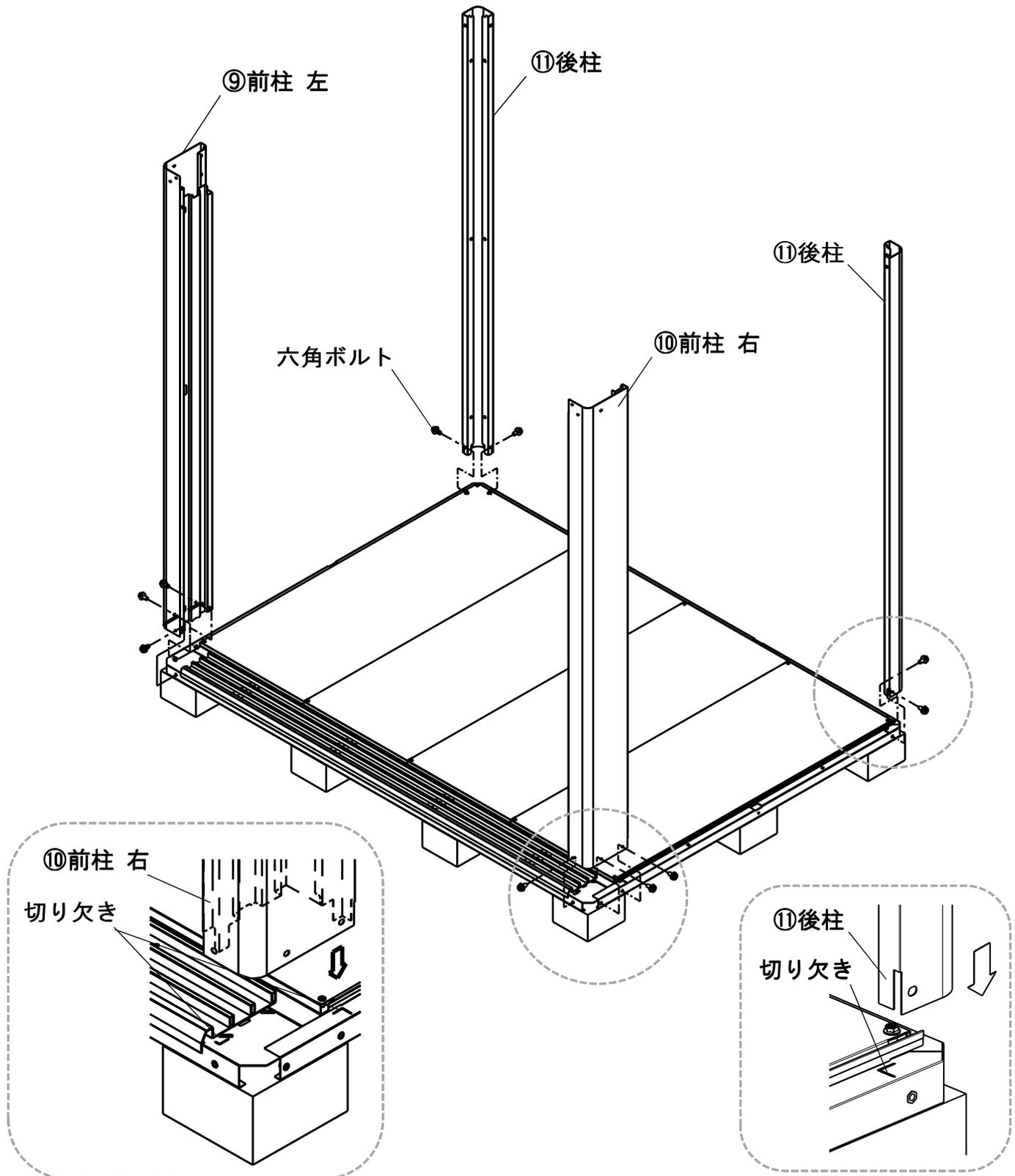
土台をずらして 角度を調整してください。

(床板パネルと並行になるようにすると直角度が出ます)

## 4 柱の組立

- ① ⑨前柱 左、⑩前柱・右、⑪後柱2本を土台の四隅にそれぞれ取り付ける。

使用する部品		
部品番号	名称	数量
⑨	前柱 左	1
⑩	前柱 右	1
⑪	後柱	2
	六角ボルト	10
	ボックスドライバー	1

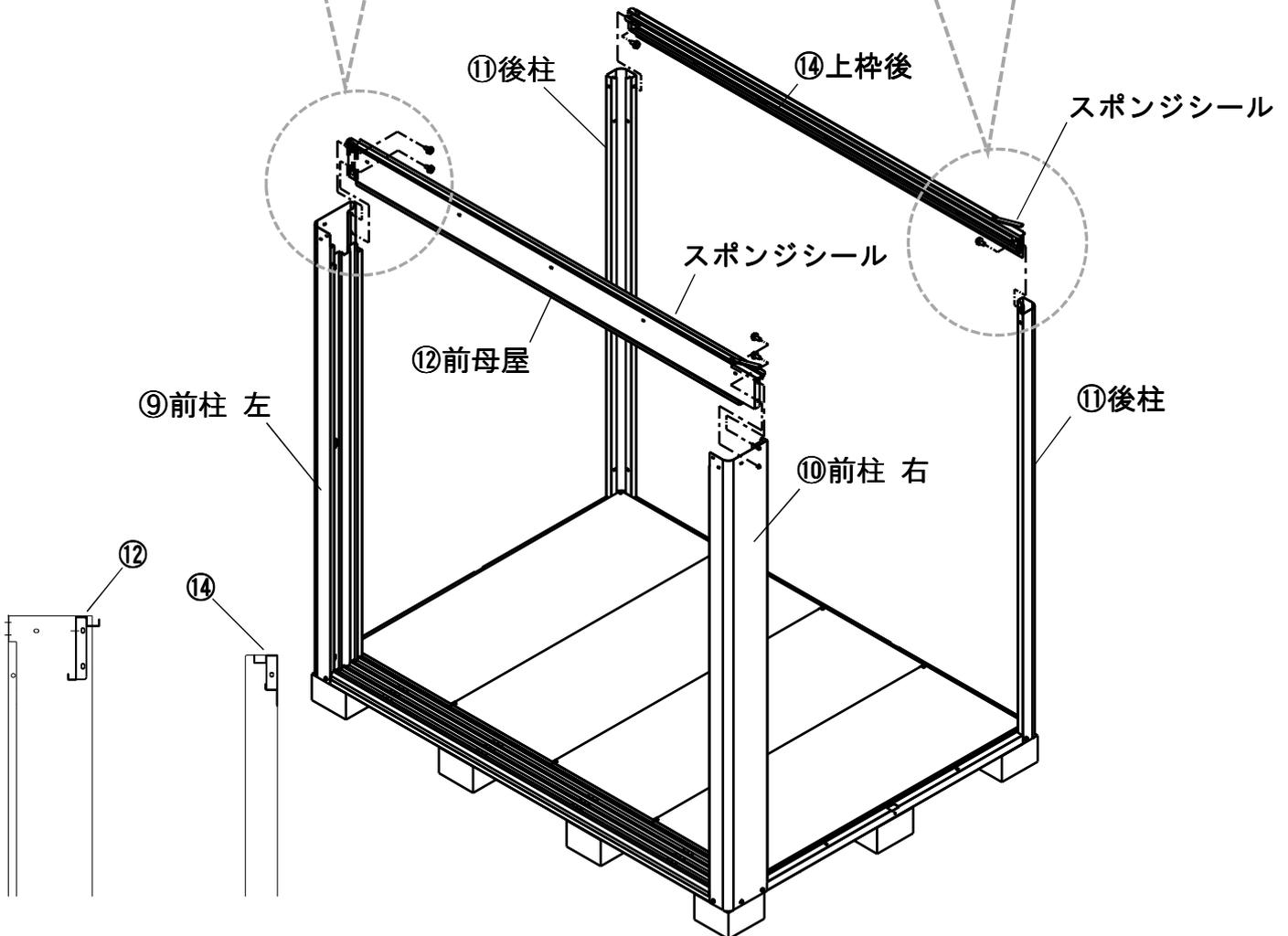
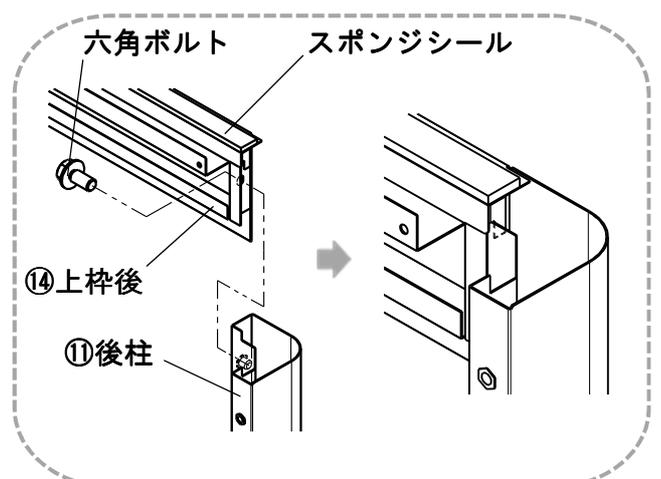
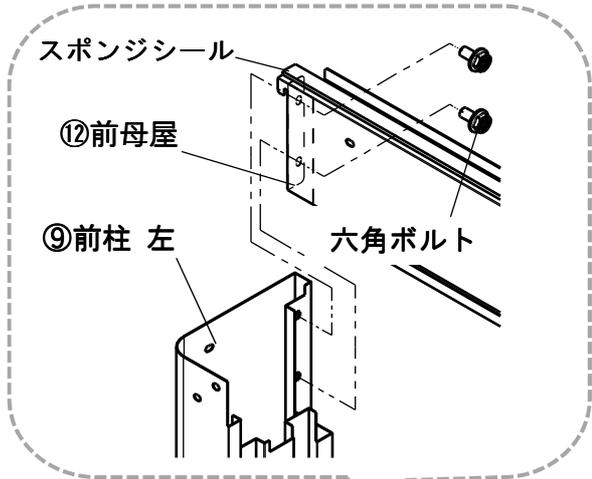


## 5 前母屋、上枠後の組立

### 使用する部品

部品番号	名称	数量
⑫	前母屋	1
⑭	上枠後	1
	六角ボルト	6
	スポンジシール	5
	ボックスドライバー	1

- ① ⑫前母屋を⑨前柱 左、⑩前柱 右に取り付け、六角ボルトで固定します。
- ② ⑭上枠後を⑪後柱に取り付け、六角ボルトで固定します。
- ③ スポンジシールを⑫前母屋と⑭上枠後の上面にすきま無く貼り付けます。

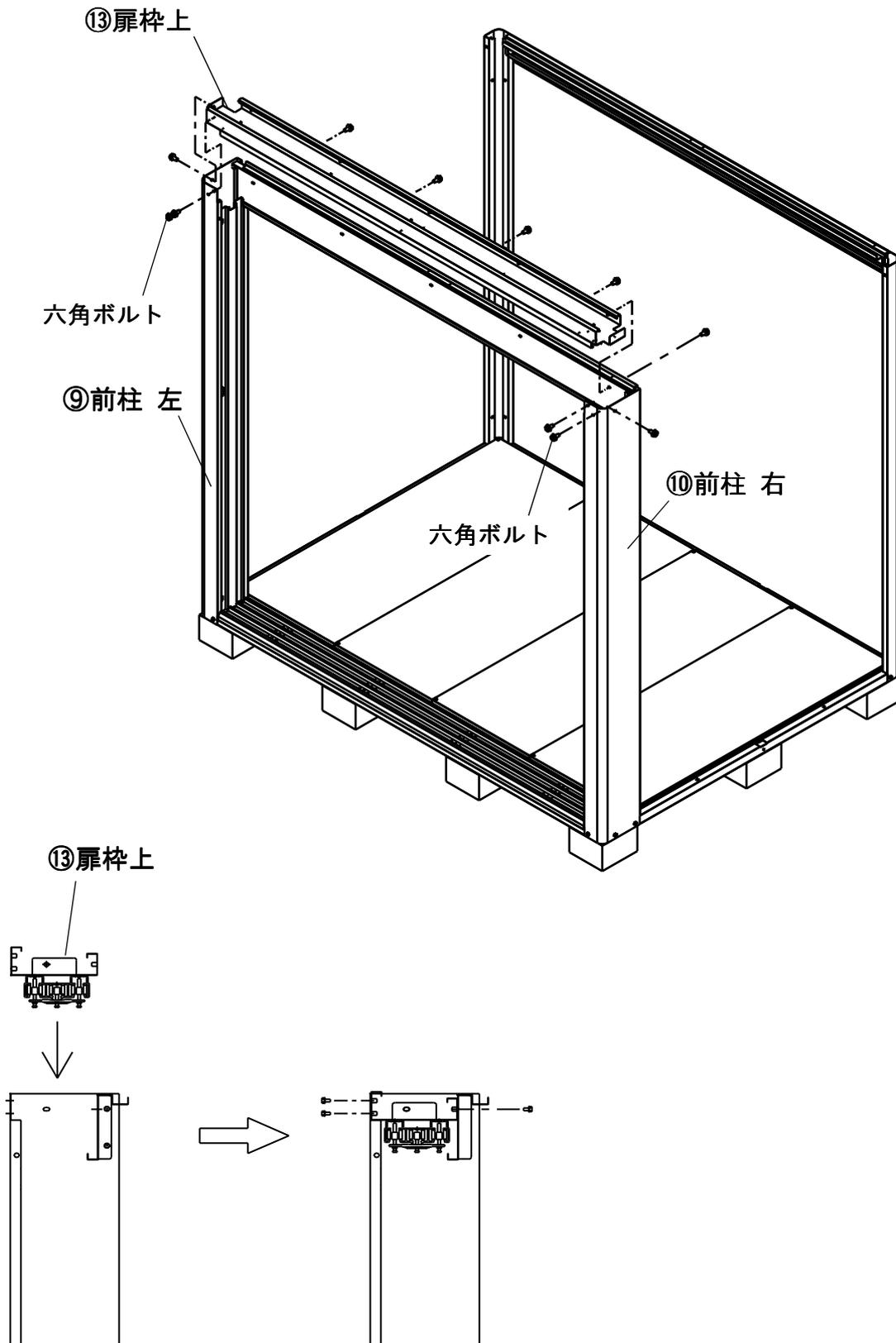


## 6 扉枠上の組立

### 使用する部品

部品番号	名称	数量
⑬	扉枠上	1
	六角ボルト	11
	ボックスドライバー	1

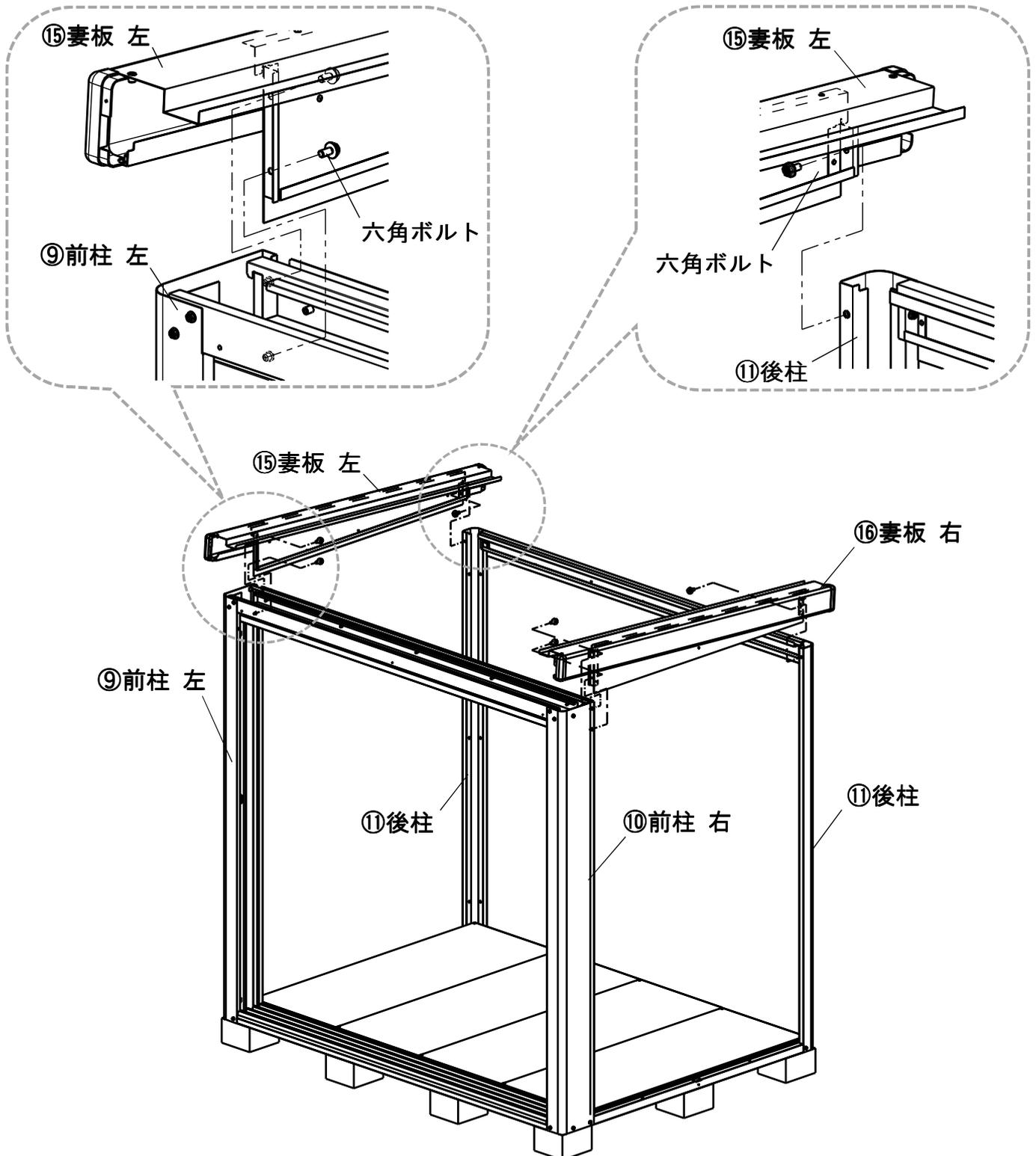
- 1** ⑬扉枠上を⑨前柱 左、⑩前柱 右に取り付け、六角ボルトで固定します。



## 7 妻板の組立

- ① ⑮妻板 左を⑨前柱 左、⑪後柱に取り付けて、六角ボルトで固定します。
- ② ⑯妻板 右を⑩前柱 右、⑪後柱に取り付けて、六角ボルトで固定します。

使用する部品		
部品番号	名称	数量
⑮	妻板 左	1
⑯	妻板 右	1
	六角ボルト	6
	ボックスドライバー	1

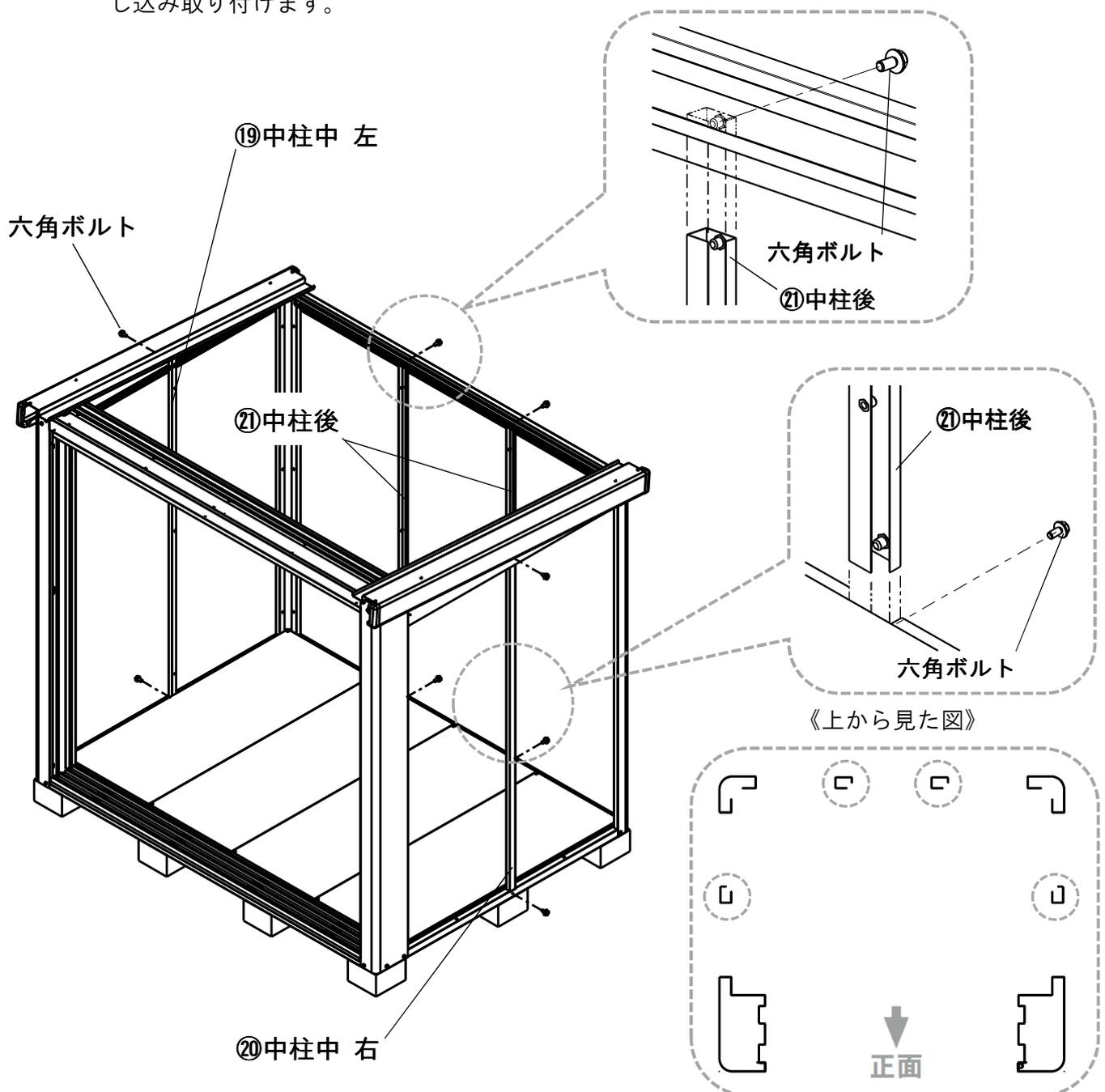


## 8 中柱の組立

- ① ⑱中柱中 左を⑮妻板 左、③土台横 左の角穴にそれぞれ差し込み取り付けます。
- ② ⑳中柱中 右を⑯妻板 右、④土台横 右の角穴にそれぞれ差し込み取り付けます。
- ③ ㉑中柱後を⑭上枠後、②土台後の角穴にそれぞれ差し込み取り付けます。

### 使用する部品

部品番号	名称	数量
⑱	中柱中 左	1
⑳	中柱中 右	1
㉑	中柱後	2
	六角ボルト	8
	ボックスドライバー	1



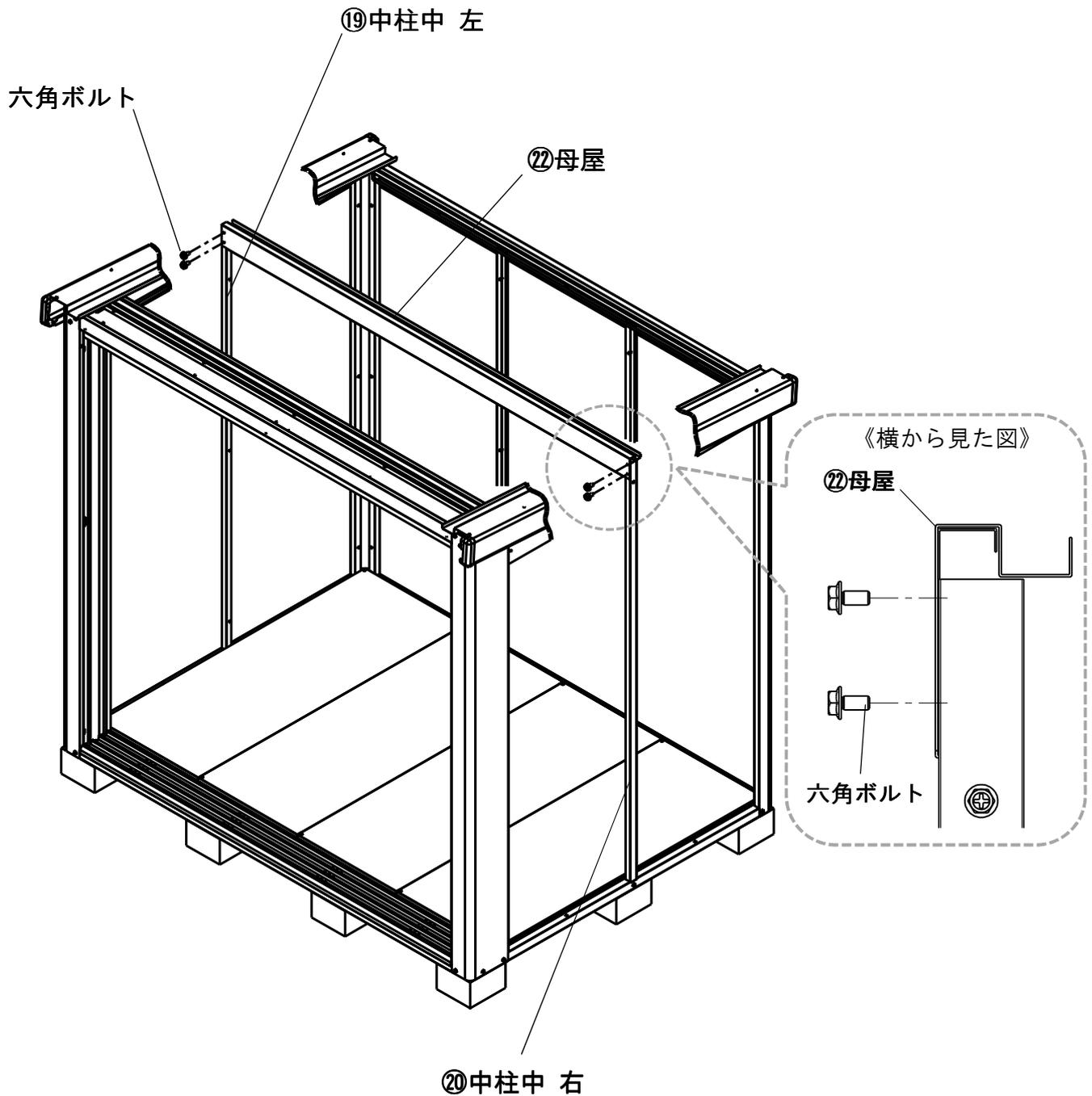
※中柱の断面形状を確認してから取り付けてください。

## 9 母屋の組立

- 1** ②②母屋を①⑨中柱中 左、②①中柱中 右に六角ボルトにて固定します。

### 使用する部品

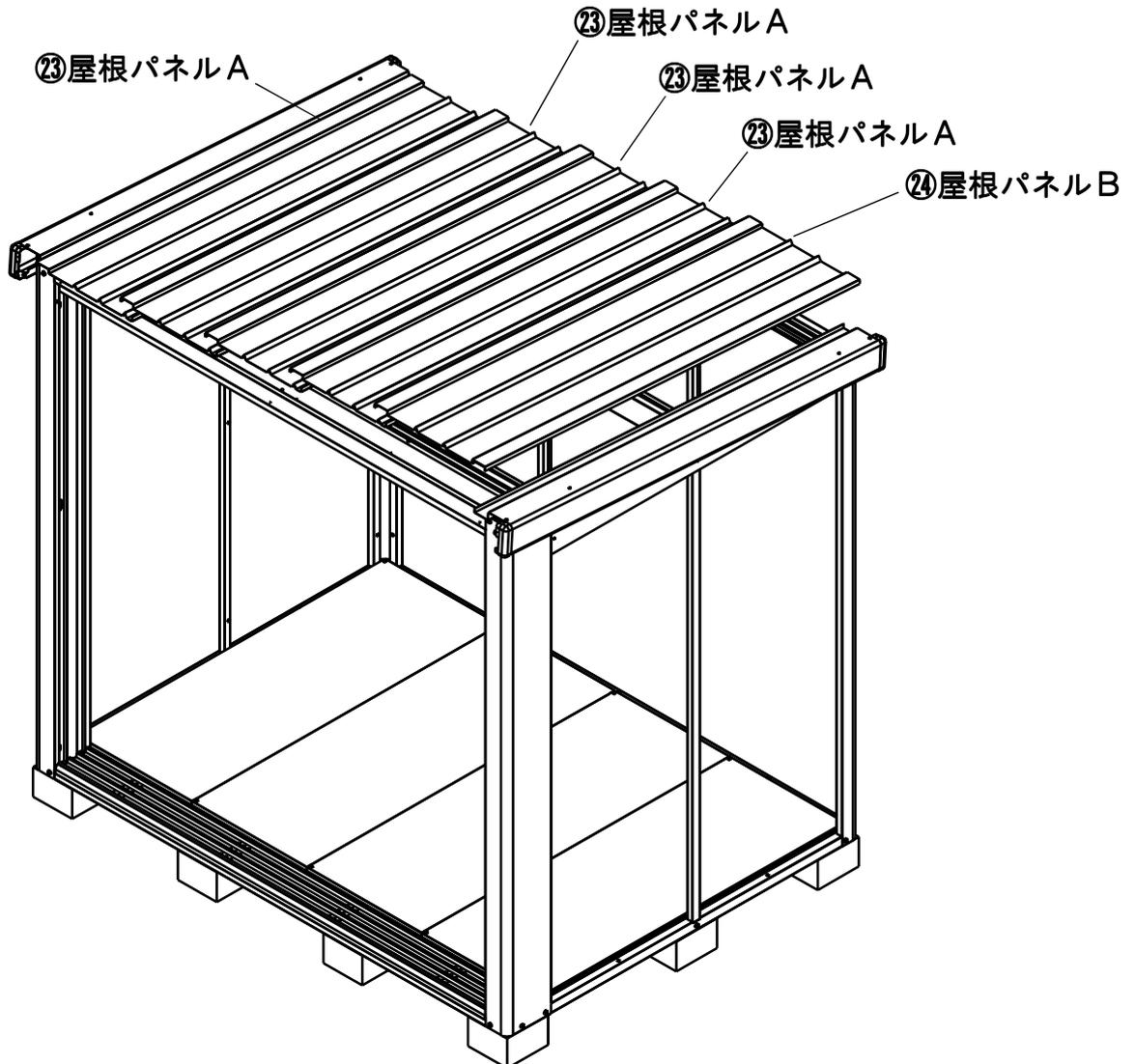
部品番号	名称	数量
②②	母屋	1
	六角ボルト	4
	ボックスドライバー	1



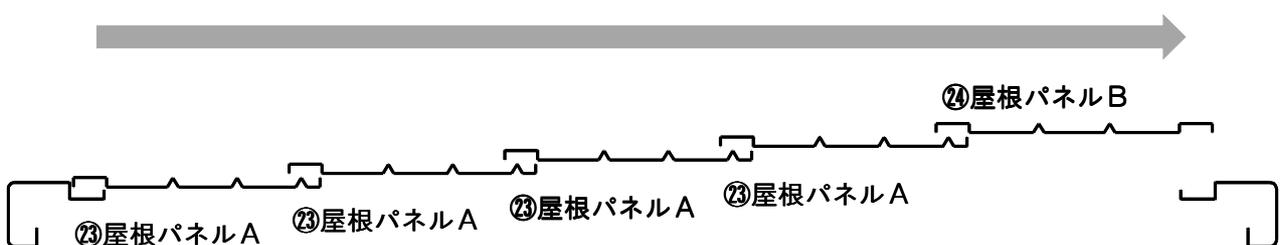
# 10 屋根の組立

- ① 向かって左端から⑳屋根パネルAを4枚、並べます。
- ② 最後、向かって右端に㉑屋根パネルBを載せます。

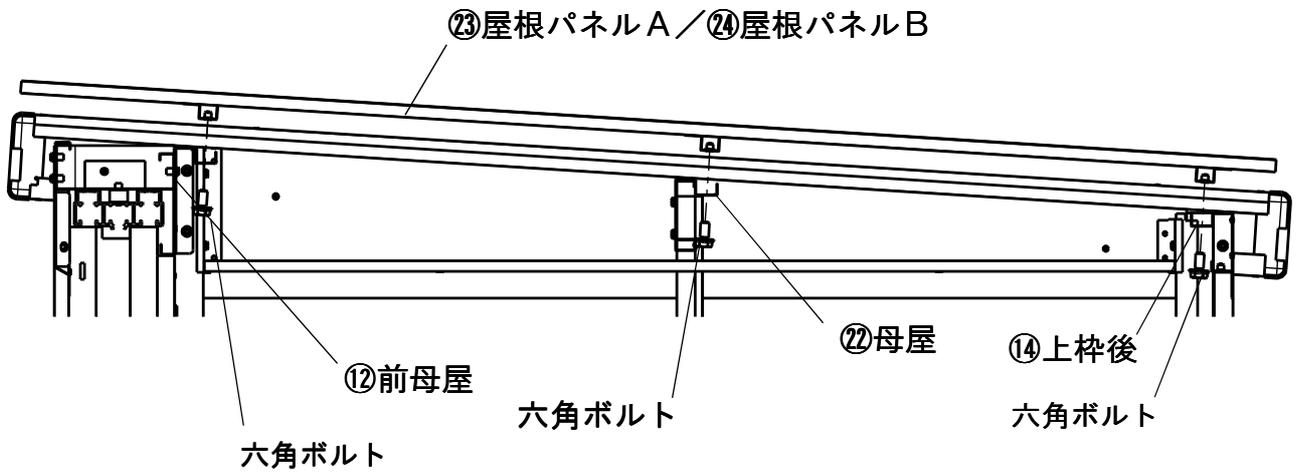
使用する部品		
部品番号	名称	数量
㉑	屋根パネルA	4
㉑	屋根パネルB	1
	六角ボルト	18
	ボックスドライバー	1



《向かって左端から順に》

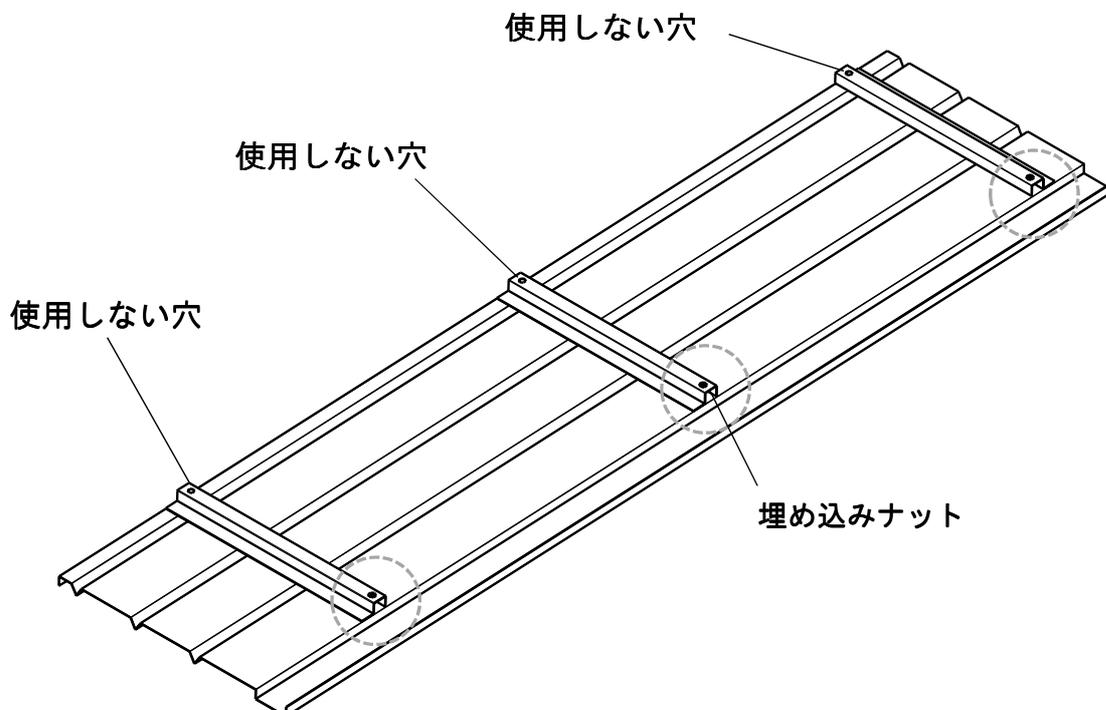


- ③ ②③屋根パネルA、②④屋根パネルBを②⑫前母屋、②②母屋、②④上枠後に六角ボルトにて固定します。



#### 【注意事項】

②③屋根パネルAについては、下図の○印の所<sup>のみ</sup>に埋め込みナットが取り付けられています。反対側の列にはナットが取り付けられておりませんが、不具合ではありませんのでご安心ください。

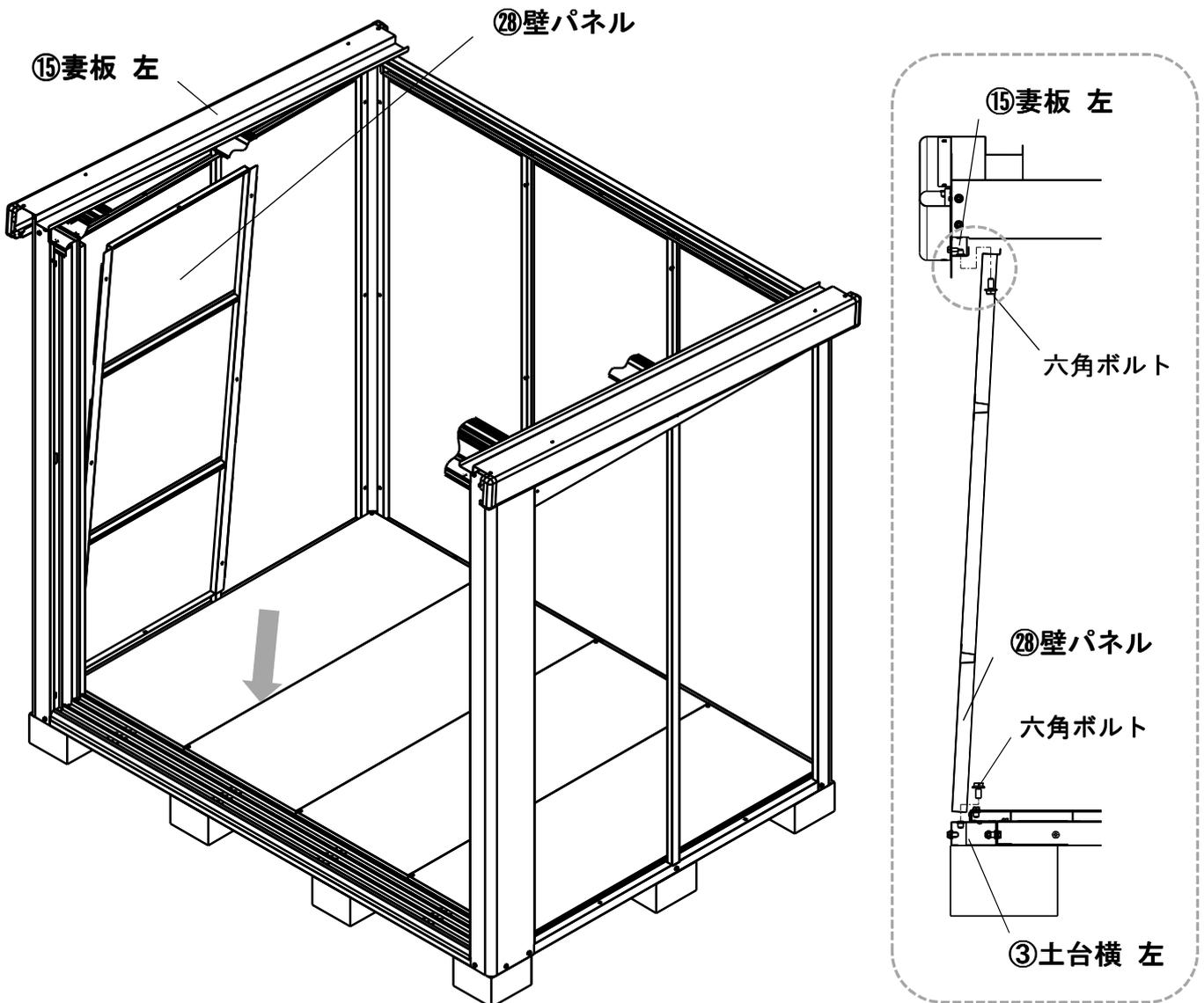


# 11 壁パネルの組立

## 使用する部品

部品番号	名称	数量
⑳	壁パネル	7
	六角ボルト	4 4
	ホックドライバー	1

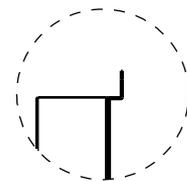
- 1** 物置の内部左側から順に⑳壁パネルを取り付けます。  
 ※⑳壁パネルの下側から入れてはめ込むようにします。



※壁パネルの取付けは、左側から順に！

※壁パネルには、上下方向あり！

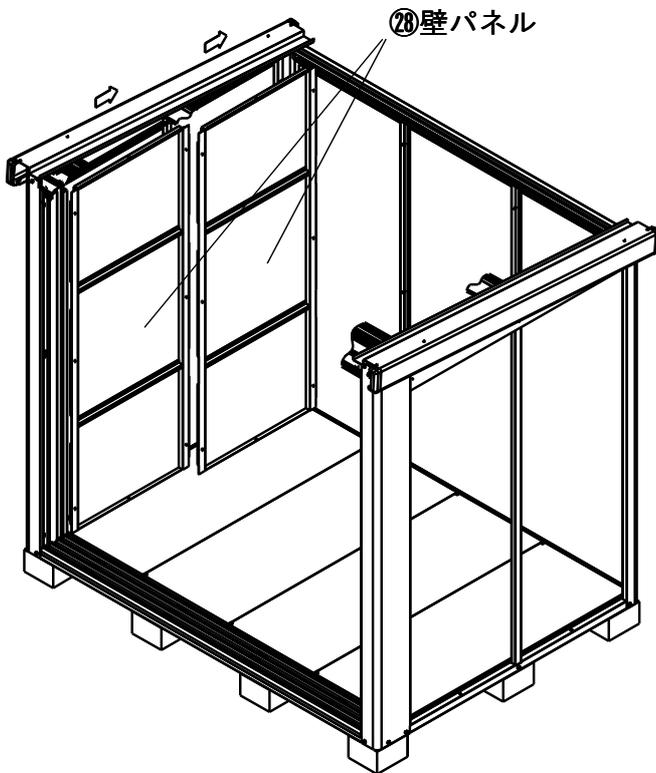
《⑳壁パネル 上部の形状》



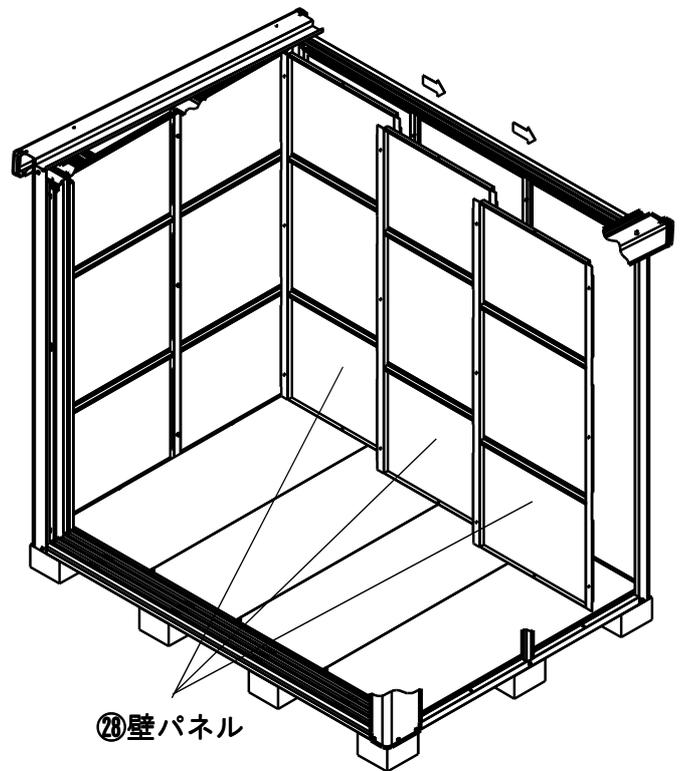
※こちら側が上側になります。

**2** ㊸壁パネルを下図の順序にてはめ込み、六角ボルトにて固定します。

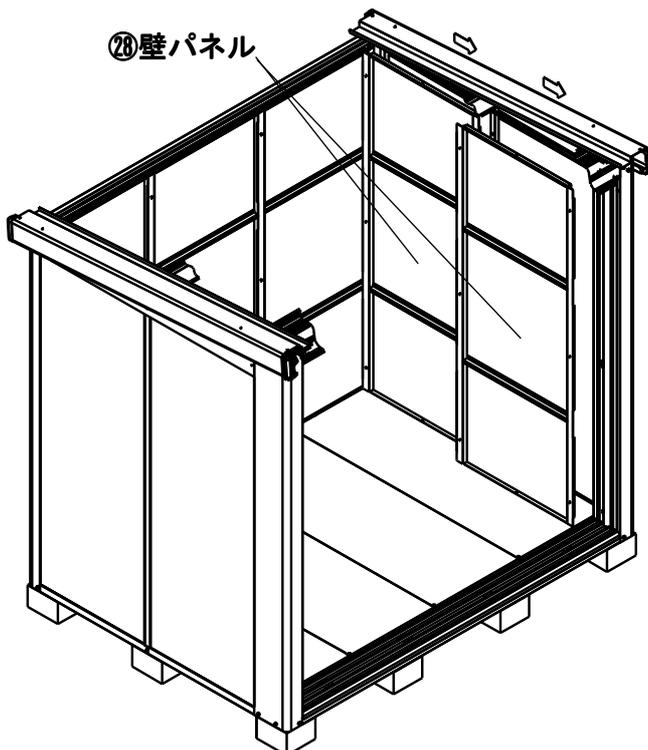
a) 左側面に㊸壁パネルを手前から奥の順で取り付けます。



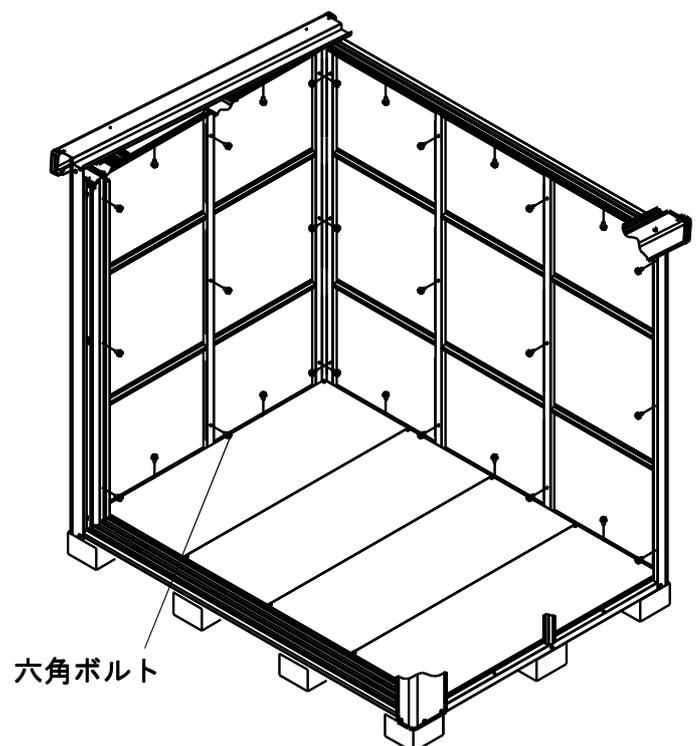
b) 背面に㊸壁パネルを左から右の順で取り付けます。



c) 左側面に㊸壁パネルを手前から奥の順で取り付けます。



d) ㊸壁パネルを六角ボルトで固定します。

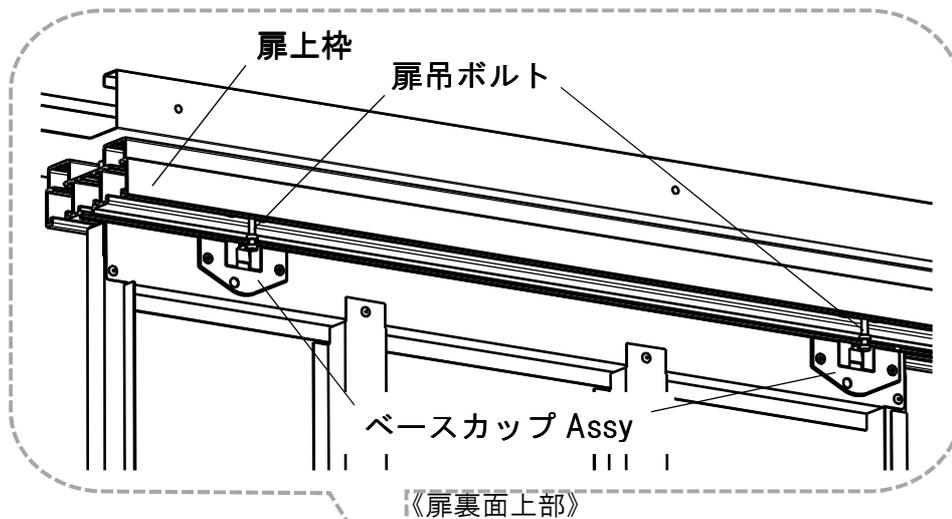


# 12 扉の組立

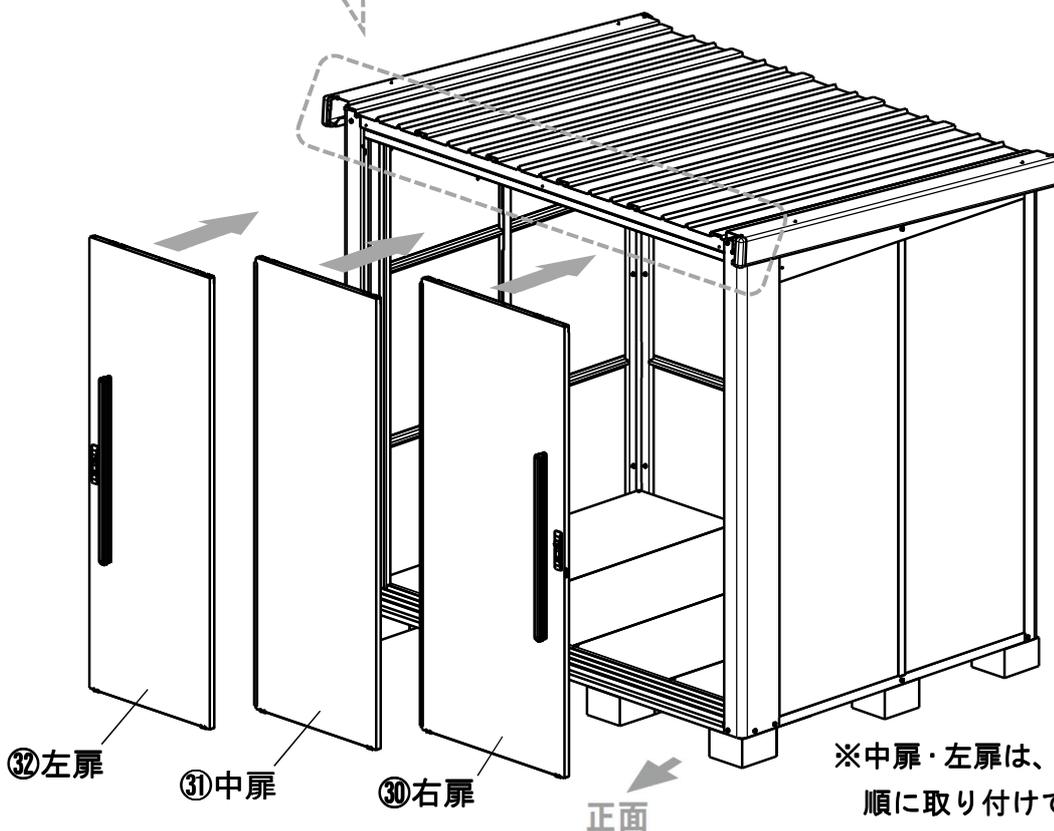
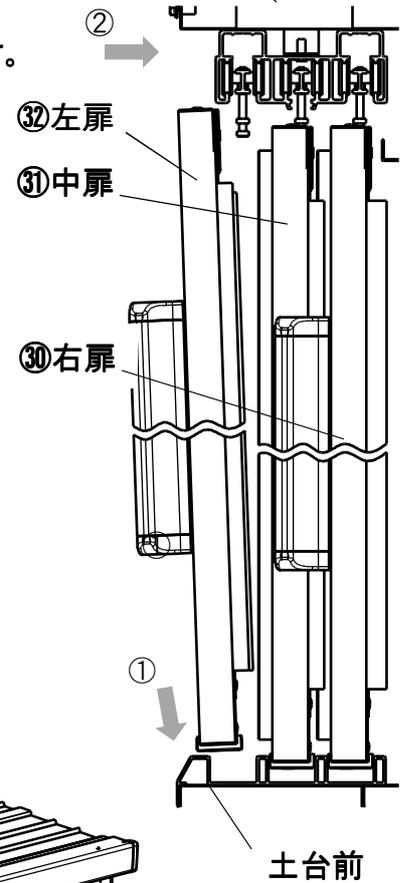
使用する部品		
部品番号	名称	数量
③①	右扉	1
③②	中扉	1
③③	左扉	1

- ① ③③右扉を奥側のレールにセットし、取り付けます。
- ② ③②中扉を真ん中のレールにセットし、取り付けます。
- ③ ③①左扉を手前側のレールにセットし、取り付けます。

※扉吊ボルトをベースカップ Assy に横から差し込みます。



⑬ 扉枠上

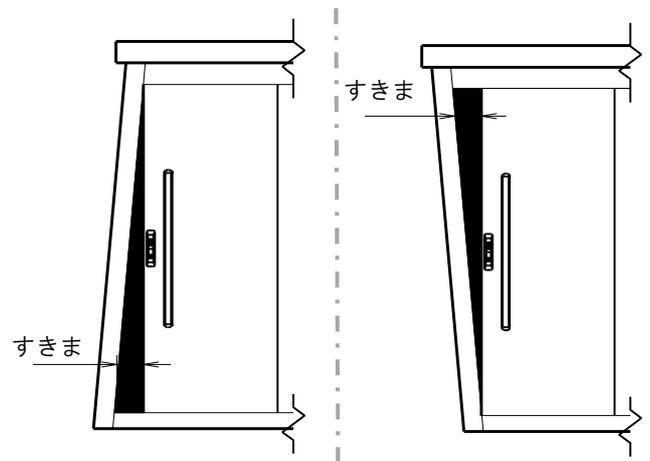


※中扉・左扉は、扉が重なった位置で順に取り付けてください。

## 13 扉の高さ調整

- ① 扉を閉めた際に柱の戸当たり部と扉との間にすきまが出来たり、錠前がかかりにくい場合には、すきまの大きさに合わせて以下の要領で調整してください。

※柱の戸当たり部と扉とのすきまが目安として3mm未満の場合は、扉での調整が可能です。

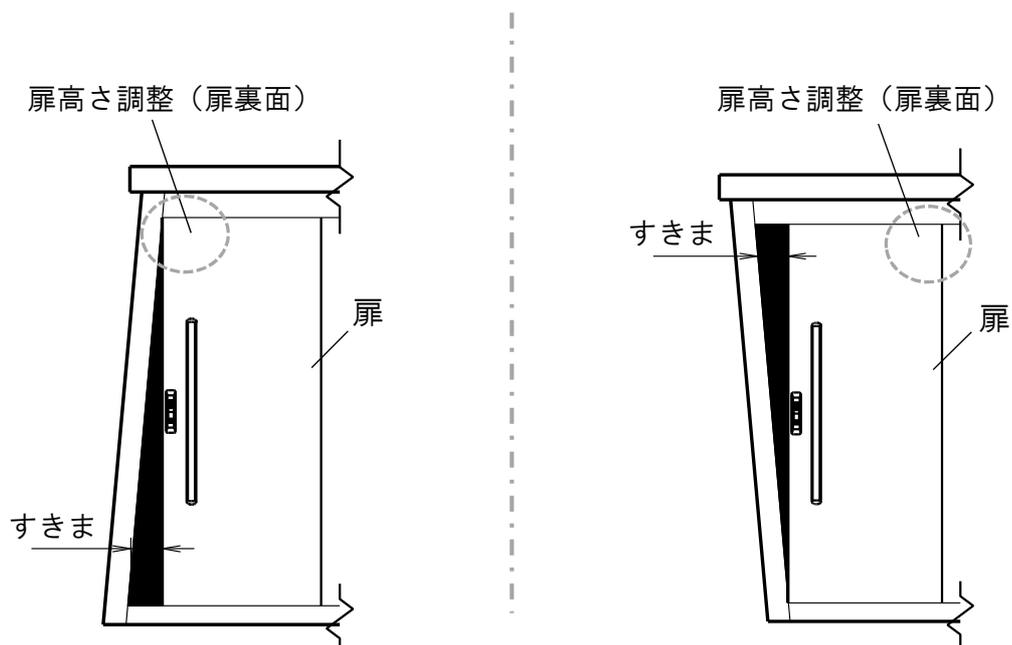


- ② すきまが3mm以上の場合。

土台の水平がとれていない為、全体がねじれていることが要因と考えられます。土台が水平になるように土台の高さを調整してください。

- ③ すきまが3mm未満の場合。(目安)

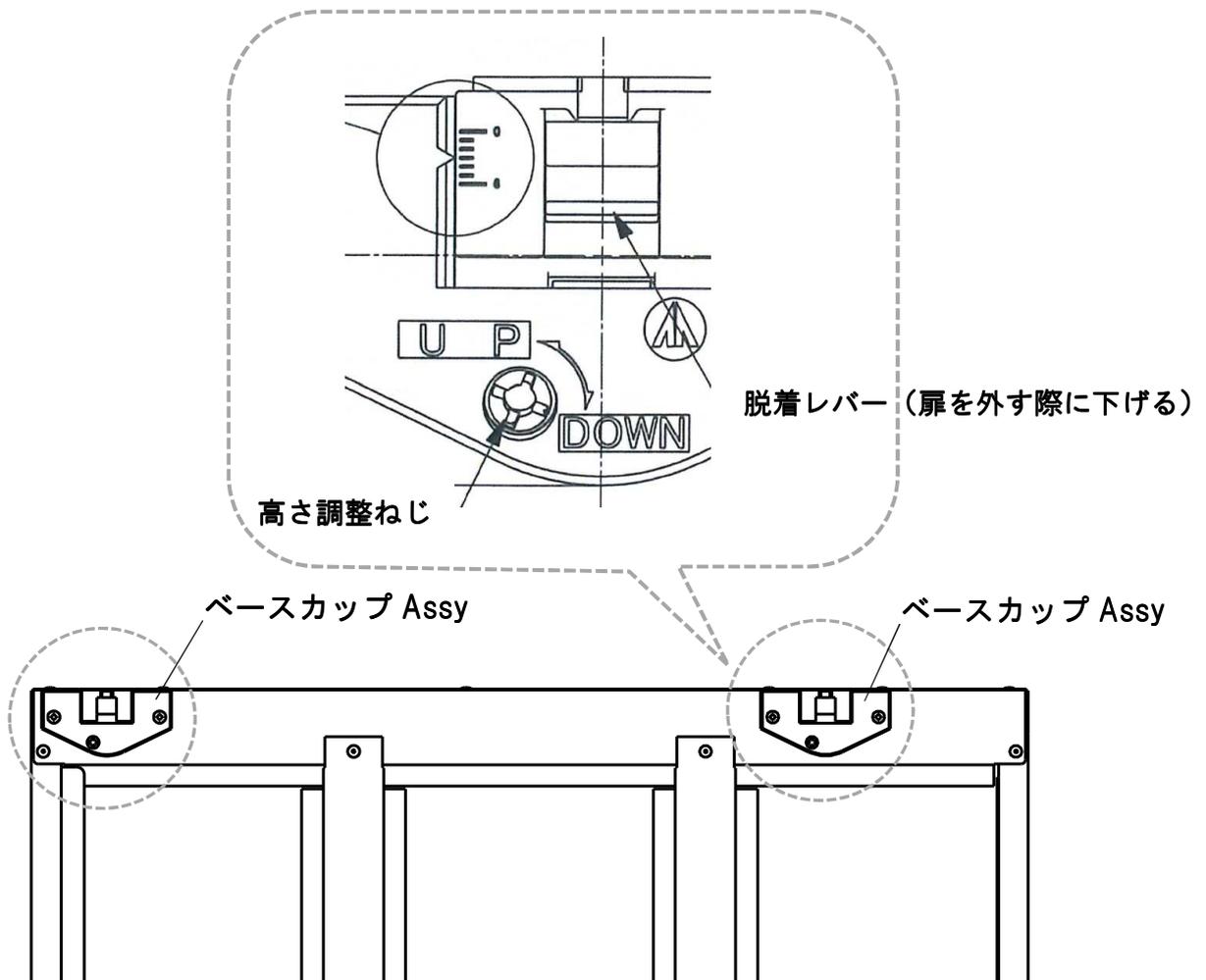
すきまの場所に応じて、図を参考に扉の点線部で囲まれた部分で高さ調整を行ってください。



#### 4 扉の高さ調整手方法

高さ調整ねじをプラスドライバーにて回して、調整してください。

使用する部品		
部品番号	名称	数量
	プラスドライバー	1



#### 扉の開閉についての注意事項

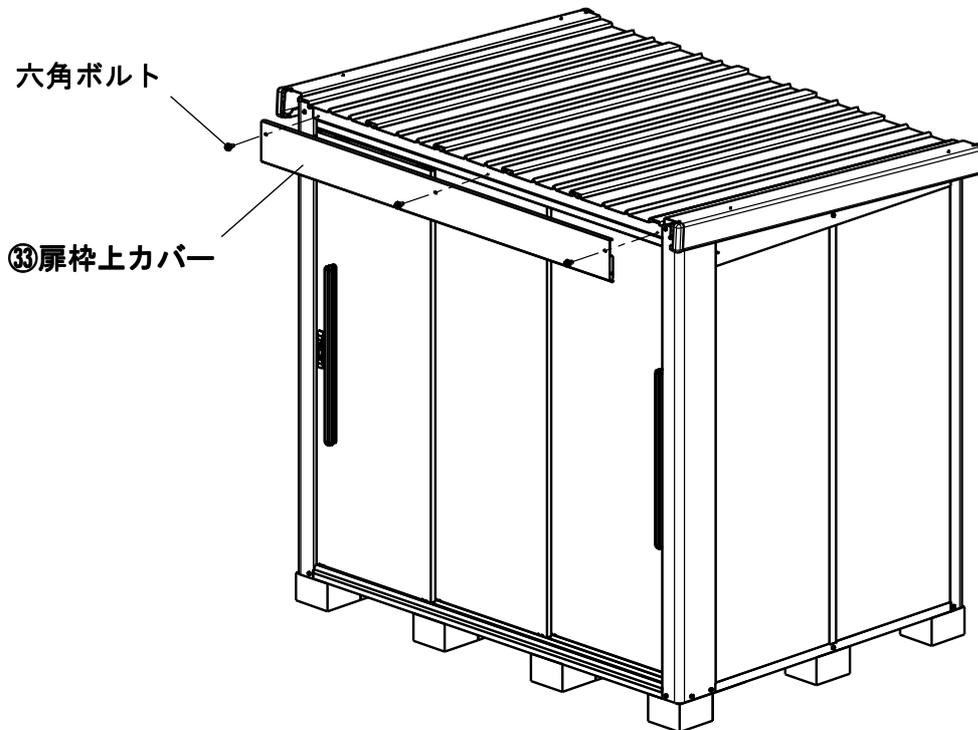
- ・扉の開閉は静かに行ってください。激しく開閉したり、無理に動作しますと、故障の原因になります。
- ・開閉動作時のダンパーによる減速動作（ソフトモーション）は自動開閉ではありません。  
気温等の影響で扉が最後まで閉まらない場合がありますので、施錠は扉を最後まで閉めきった位置で行ってください。
- ・ダンパーは消耗品です。必要に応じて交換してください。

## 14 扉枠上カバーの組立

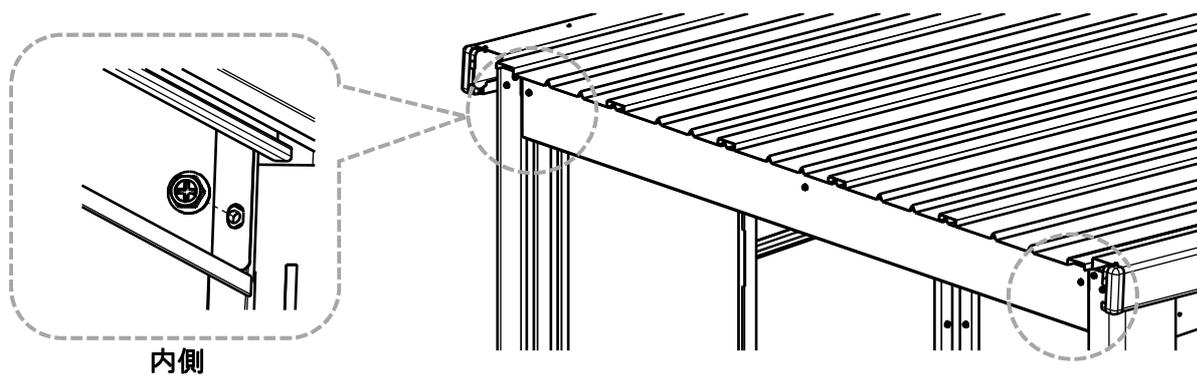
### 使用する部品

部品番号	名称	数量
③③	扉枠上カバー	1
	六角ボルト	5
	ボックスドライバー	1

- 1** ③③扉枠上カバーを 扉枠上へ六角ボルトにて固定します。

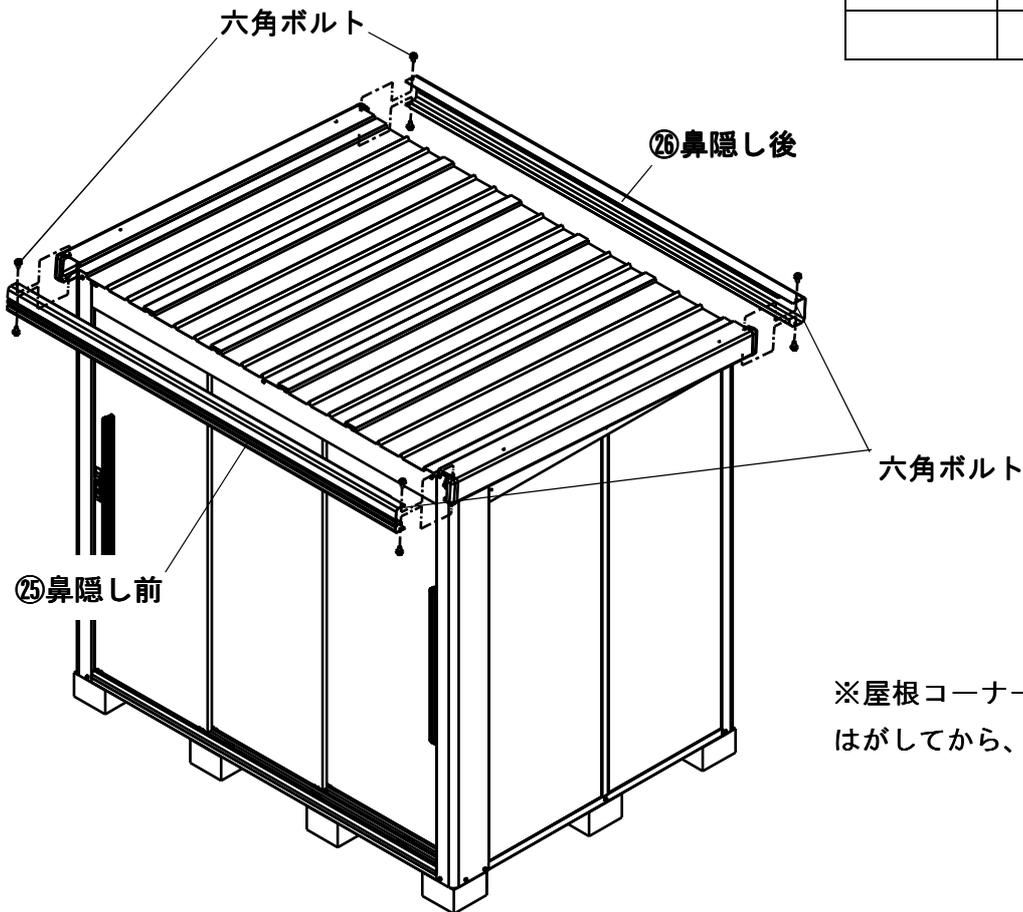


- 2** ③③扉枠上カバーの左右内側から前柱へ六角ボルトにて固定します。



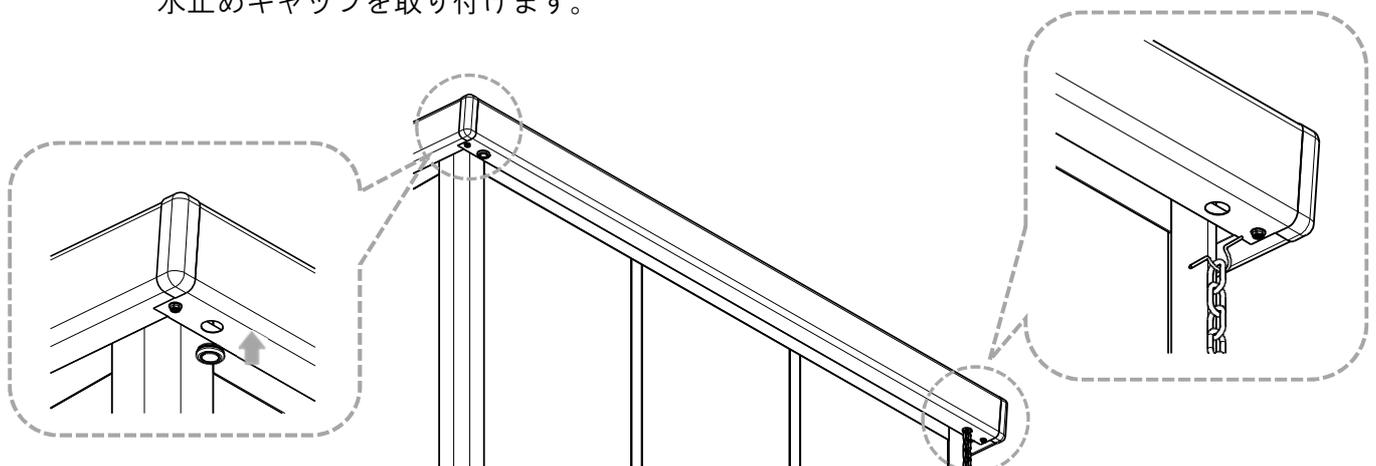
## 15 鼻隠しの組立

- ① ②⑤鼻隠し前を 前側から⑮⑯妻板 左／右にかぶせるように取り付けます。
- ② ②⑥鼻隠し後を 後側から⑮⑯妻板 左／右にかぶせるように取り付けます。



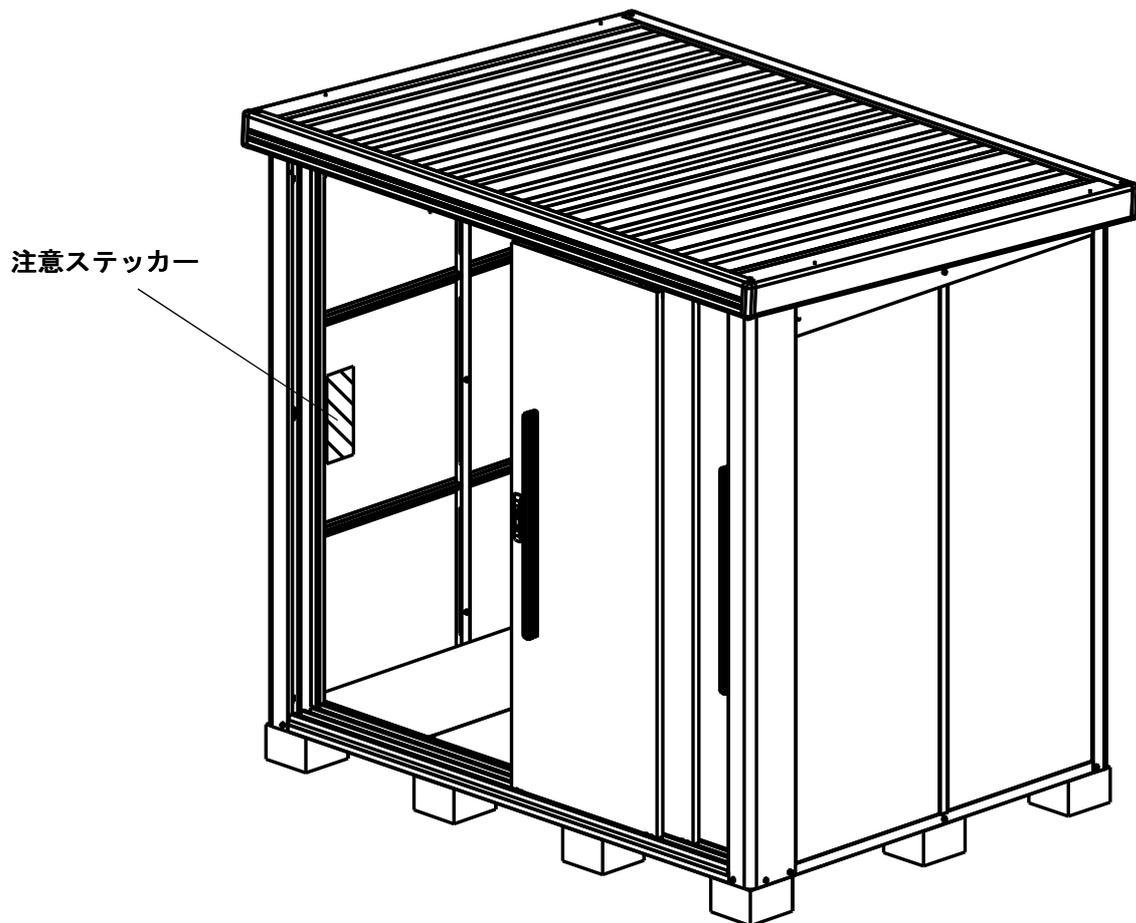
※屋根コーナーキャップのテープ台紙をはがしてから、鼻隠しを取付けてください。

- ③ 鼻隠し後の一方の水抜き穴にプラスチックチェーンを差し込み、もう一方の水抜き穴に水止めキャップを取り付けます。



使用する部品		
部品番号	名称	数量
②⑤	鼻隠し前	1
②⑥	鼻隠し後	1
	プラスチックチェーン	1
	2.1mU型ハンガ-付	1
	水止めキャップ	1
	六角ボルト	8
	ボックスドライバ-	1

壁パネル内側の見やすい位置に注意ステッカーを貼り付けます。



## 16 棚柱の組立

※以下の説明は、棚板を左側に設置しています。

右側に設置する場合は、左右対称に取り付けてください。

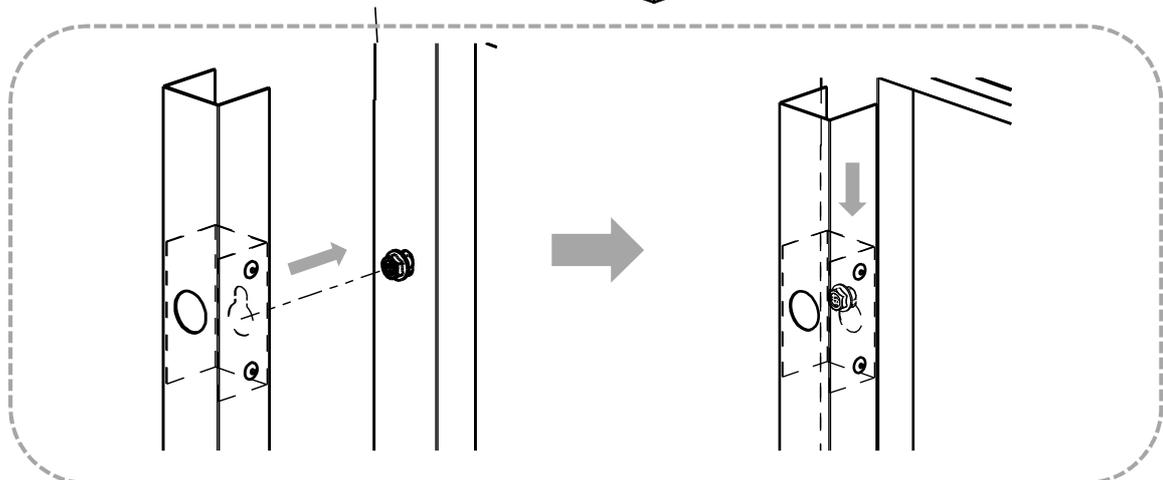
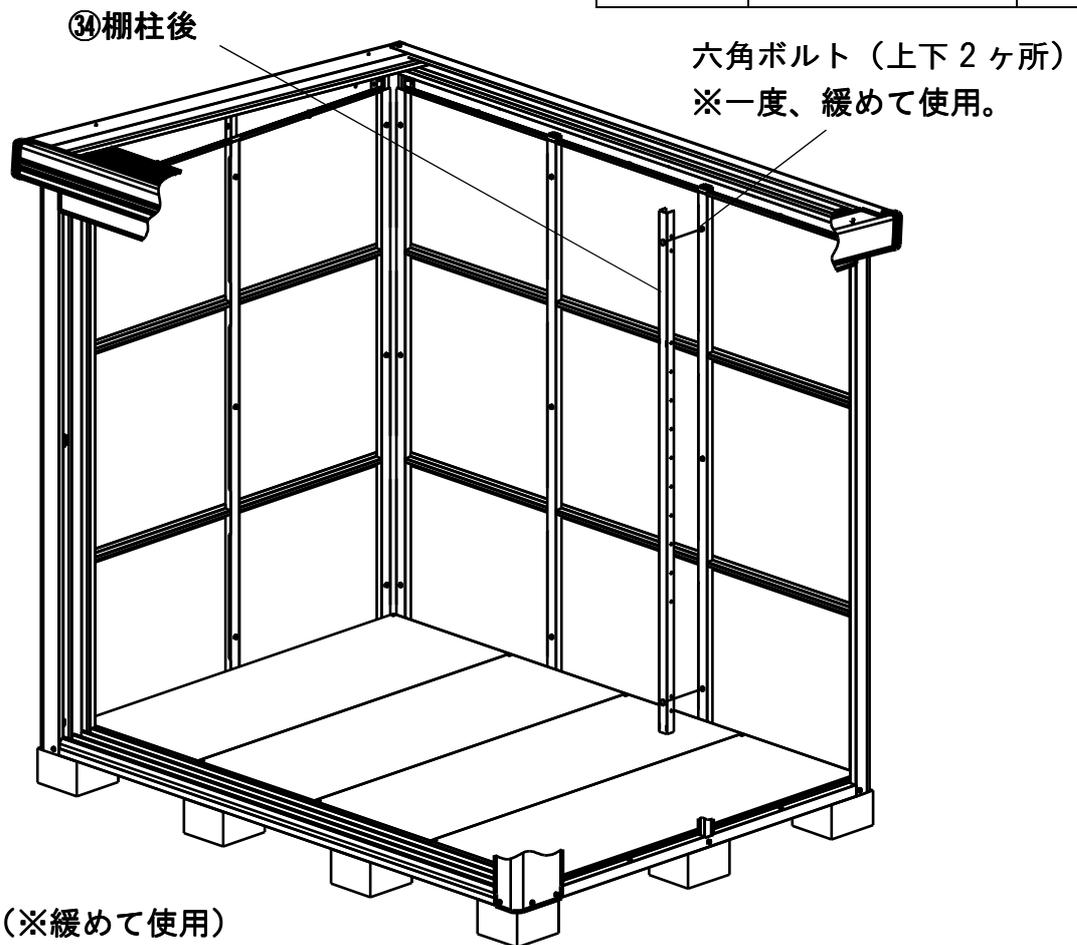
**1** ③④棚柱後を壁パネルに取り付けます。

※壁パネルを固定している上下2ヶ所の六角ボルトを一度緩めてから下図を参考にして取り付けてください。

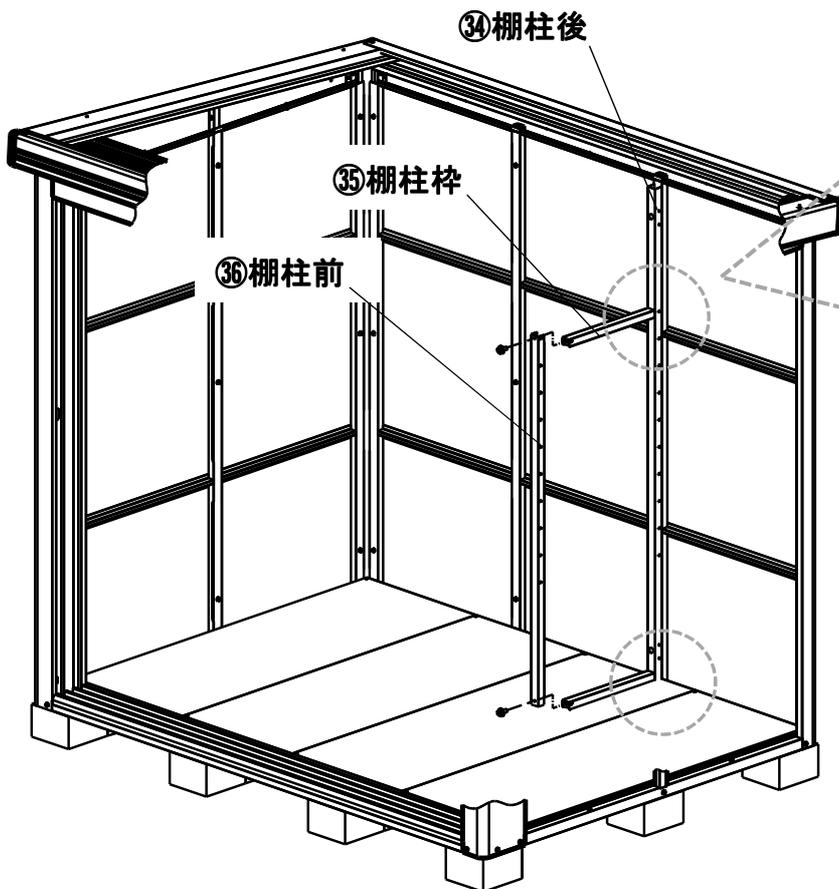
下方にずらした後、再度六角ボルトを締めます。

### 使用する部品

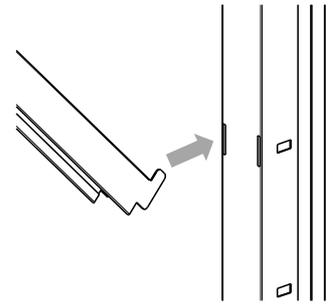
部品番号	名称	数量
③④	棚柱後	1
③⑤	棚柱枠	2
③⑥	棚柱前	1
③⑦	棚柱端取付具	2
③⑧	棚柱端	2
③⑨	棚板 大	2
④①	棚柱前固定金具	1
	六角ボルト	6
	ホックドライバー	1



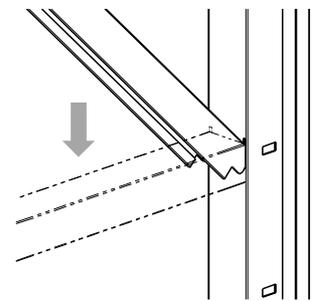
- 2** ③⑤棚柱枠を③④棚柱後にある角穴に下図のように差し込んで取り付けた後、③⑥棚柱前を③⑤棚柱枠へ六角ボルトにて固定します。



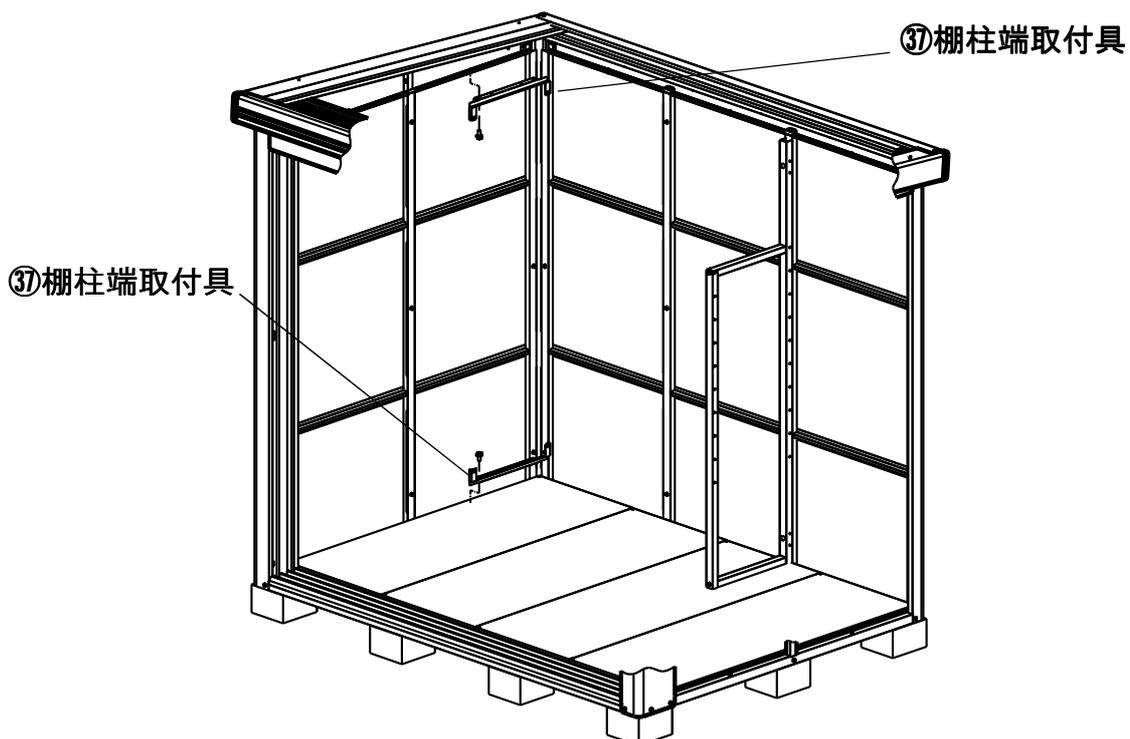
①棚柱枠を棚柱後の角穴に差し込みます。



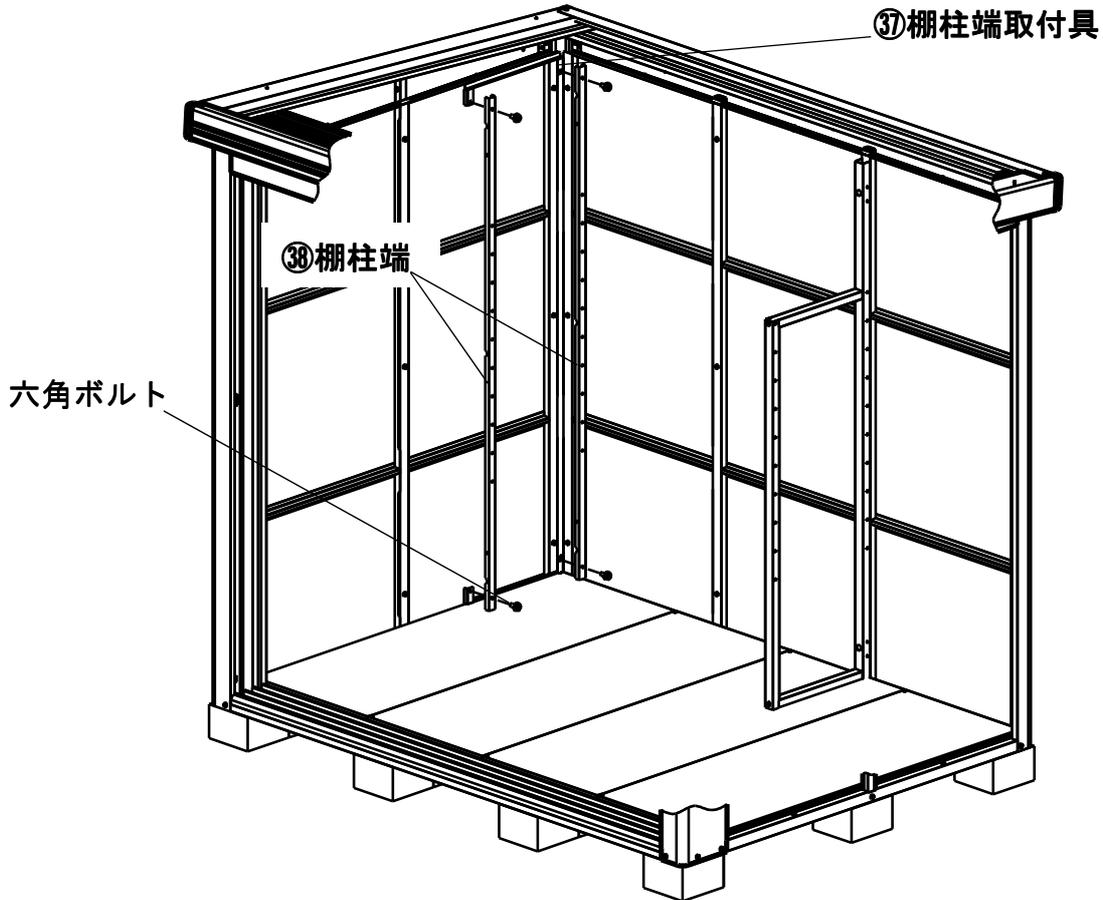
②そして棚柱枠を下へ倒します。



- 3** ③⑦棚柱端取付具を壁パネルの上下に取り付けます。  
※壁パネルを固定している六角ボルトで取り付けるため、一度外してください。

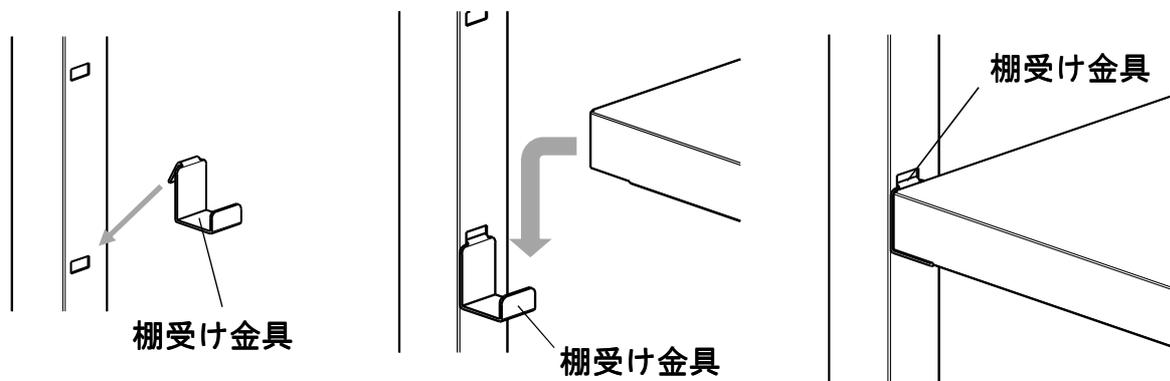


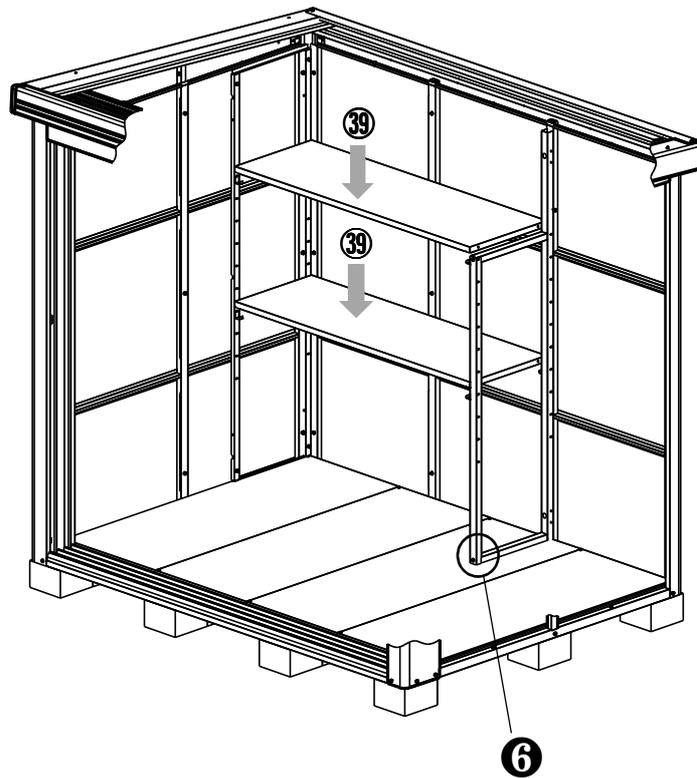
- ④ ③⑦棚柱端取付具に③⑧棚柱端を六角ボルトで固定します。



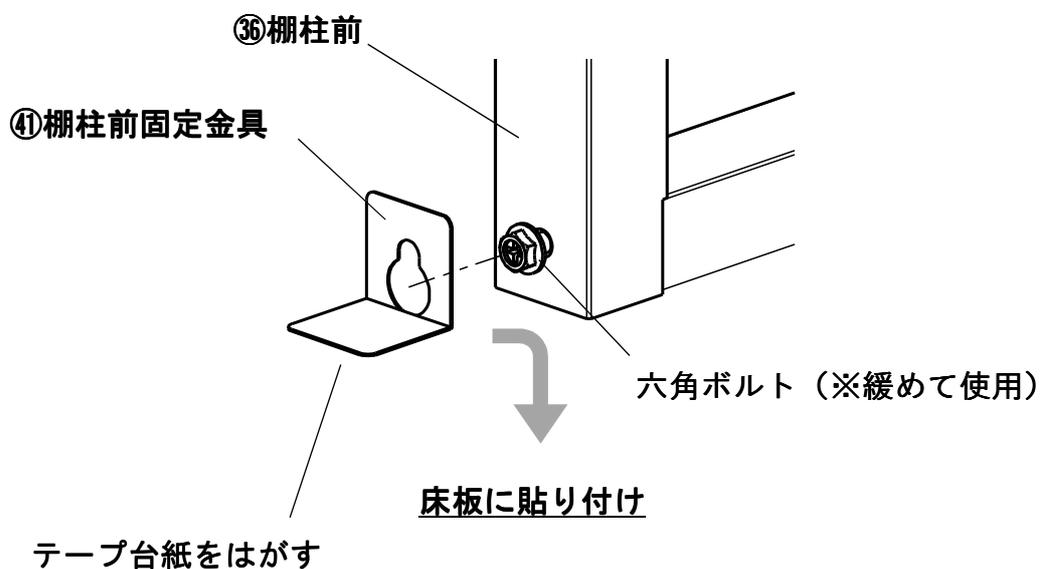
- ⑤ ③④棚柱後、③⑥棚柱前、③⑧棚柱端の角穴に棚受け金具を掛けて、③⑨棚板 大を載せます。  
 ※棚板はしっかりと棚受け金具に載せてください。

**棚受け金具取付詳細図**





- 6**
- 1) ④棚柱前固定金具 裏面のテープ台紙をはがします。
  - 2) 六角ボルトを緩めて、④棚柱前固定金具を差し込み、まっすぐな位置を確認しながら床板に貼り付けます。
  - 3) 再度六角ボルトを締めて固定します。

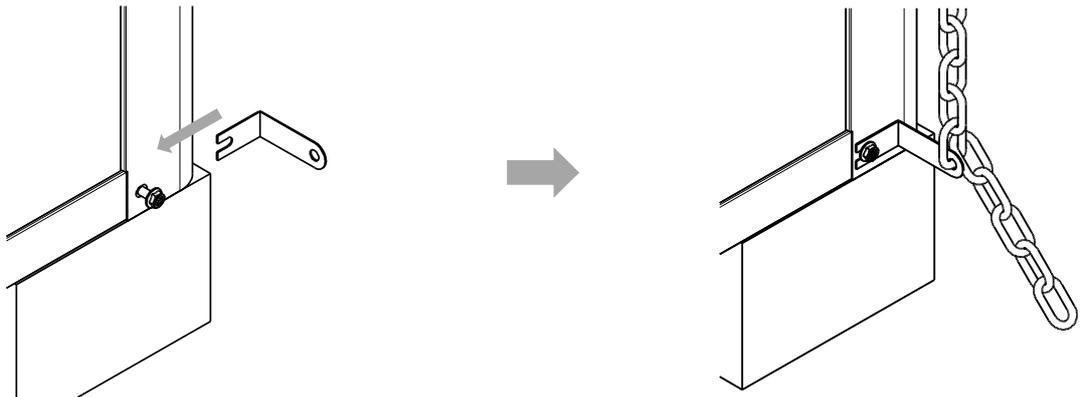


## 17 チェーン振れ止め

### 使用する部品

部品番号	名称	数量
	チェーン振れ止め	1
	ホックドライバー	1

- ① プラスチックチェーン側の⑪後柱下側の六角ボルトを緩めてチェーン振れ止めを取り付けます。  
チェーン振れ止めの穴にプラスチックチェーンを引っ掛けてください。



- ② 最後に部品の取付け、ボルトの締め忘れがないか確認してください。

## 18 錠前について

- ① ワンプッシュで一時的な施錠（仮ロック）ができます。
  - ・錠前カギ穴部①を押す CLOSE：施錠
  - ・錠前②部を押す OPEN：解錠

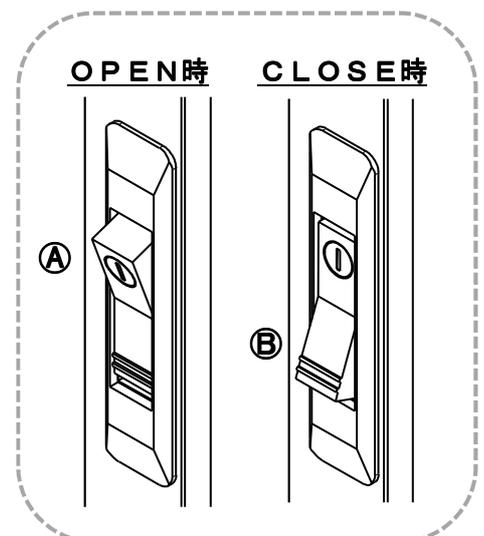
カギによって本施錠ができます。

- ② 《カギは、扉の裏面に貼り付けてあります》  
①部を押した状態（仮ロック施錠）で、カギを左に回すと本施錠されます。

解錠はカギを右に回します。

その後に②部を押すことで、仮ロック解錠され扉を開くことができます。

※本施錠の状態、②部を無理に大きな力で押さないでください。  
破損の原因になります。





《memo》